

心精廬日誌

大正十三年二月以迄
至同年八月末日

特別

イ4

1919

590

50

45

40

35

小幡屋日記

大正十三年二月以降



二月

一日

晴高科の二生よりあまねのうらハムを心えと歌し方
 去つてはあまねの日照を得て又二十程の跡者の
 帙を注文見たりと挨拶の時と後、内田貢二
 状をよるす、山田河内前月右の積家本二行と
 帯し来り此大板初めこの配本より、矢以あ
 片見あ苗を考す、家産の部を玩んび六十為

穀を捺し印簿一冊成る。前如懐らと申す。在
吉田丹三宗吉と云く。雪積を記す。雪の足るを
秋の四の守之地。雪あり。大隈。炭。竹。編。算。家
又高須。打馬。赤。藤。平。田。木。崎。自。動。車。
同乗。下谷。池。と。瑞。ひ。つ。ど。と。判。り。飲。む。熱。方
の。為。也。十。時。以。又。地。震。あり。深。更。を。降。雨。

二日

拂。雨。多。し。雨。と。多。く。新。由。之。の。新。判。り。十
時。出。政。部。と。判。り。印刷。合。社。の。高。さ。を。根。き。出。政。
印刷。二。場。を。是。采。せん。と。する。内。議。を。為。す。正。午
大隈。會。館。に。致。し。代。記。部。の。事。を。取。り。竹。内。孝。に。申。

百。五。十。五。の。時。も。後。家。老。の。印。を。玩。ひ。且。つ。二。十。數
穀。を。印。簿。に。捺。し。時。を。移。す。又。判。り。四。谷。三
河。局。に。紙。依。合。同。會。社。の。事。を。申。す。一。場。の。演。説。
を。為。す。合。社。ハ。一。日。申。す。

三日

日

晴。別。風。寒。甚。し。朝。地。震。あり。抱。二。河。果。來。取。
山。四。三。平。一。日。晴。し。と。判。り。印刷。合。社。の。事。を。申。す。印。文。を
撰。む。日。出。谷。碑。に。押。毫。を。試。む。午。前。十。時。の。時。
午後。三。時。に。判。り。成。る。徳。字。數。六。百。三。十。改。政。修
の。字。荒。干。あ。ら。な。大。体。と。ん。と。取。り。こ。と。し。山。本。書。局。に
正。楷。殊。と。不。得。意。務。す。と。申。す。と。甚。し。山。本。書。局。に

徐南陽先生記二帳考す、價不廉をんを在るに付
購入、公海に二、出状を為す、

四〇

時、森脇来り文の増分の存する跡を尋す、古池来
三、と去り、雪庵の寸許、高坂を踏み、價十用押馬、
甲持桂、久方振、車、物と踏み、十一時出、取部
：高田外、折、部、より、倉、合、の、所、に、印刷、台、此、を、し
し、取、印、地、域、由、：、今、工、場、を、起、さ、し、ま、る、の、可、能、を
協、議、し、大、略、を、決、す、一、時、あ、り、て、薪、由、之、の、靈
別、式、に、踏、み、由、路、本、の、の、出、店、を、訪、り、て、珠、環、客、并
二、浅、公、倉、より、荒、干、の、出、出、を、踏、み、代、換、す、り、て、押、馬

今夜物月、主婦之友、社、名、花、川、并、に、編輯、員、を
招、飲、日、酒、印刷、の、平、平、行、り、し、余、も、席、に、坐、り、

五〇

晴、雜、録、を、草、し、て、時、を、移、す、竹、内、春、八、印、に、返、簡、を
投、り、村、長、貞、太、功、心、の、選、送、奉、復、を、行、は、る、と、考、
故、に、其、答、に、男、才、了、り、日、出、谷、に、國、碑、の、字、刻、を、托
す、坪、内、道、邊、り、身、出、干、後、神、田、の、出、店、と、功、心、村、口
出、店、：、二、往、日、出、を、得、九、用、出、し、美、佛、佛、山、本、者、店、：、三、十、五
用、佛、又、荒、干、の、出、出、を、踏、み、て、二、三、日、文、三、日、の、書、
の、事、を、尋、す、り、日、取、後、の、由、有、る、を、定、定、三、十、日、其
外、夜、：、今、入、院、中、の、久、病、状、：、廿、三、日、以、後、其、病、

肥志傳者おれしくる危険状態に陥ると報
し未だ、此の病候を要す夜中(一)睡眠を公す

六〇

而、早朝以上汗多し衣川原河と訪ふと縁后注財
を愛く、因代亮外身訪備中出治因道寺、良寛
師の建碑の序に好云云あり、久吹家と功心更と
脈博多く、心脈まさしく弱ハ口抱候あり、身ハ
云し遠く、上氣ありと顔面紅を呈す、羅知級
十三日目石七箇心すへき喘多し、今漢ハ一と
去病と云う也来り、午後難治を著し、坪内権

三十八

卷之五 病を扱す、夜後書を讀む。

七日

而、山の三平来る。即ハ穀の刻を嚙す、村崎訪候
新江崎有後の丸利、因代亮外身と集て干時日
訪印利合社の重役會に候ふ。出服新地地内
ニ合工場設置を可決す、宮田修母死云に
付訪問帯書と表す、午後早大田出候建
築委員會に候ふ三時物書、内子久吹を訪
ひ又老母を看候と久と訪あり、之ハ塩津の
の實母の訃利、寒山寺に回出十七部をり慣の志
送を托す、夕刻迄を候あり日本橋前と物を持ひ

天全、候し、之、河海、中、母の、訃、訃、川、猶、心、
多、事、也、

八日

烈風雨を伴ひ、未、日、出、谷、の、國、碑、三、行、爲、事、あり、書、
重、す、高、懸、字、教、字、書、き、直、す、十、時、出、段、部、の、旨、
二、箇、出、印刷、之、場、の、件、を、可、決、す、午、後、早、大、の、催、物、
貴、屋、に、臨、む、國、の、碑、を、三、十、八、段、の、可、決、
响、電、路、亦、碑、又、懸、字、教、字、を、者、校、不、已、し、東、
洋、原、部、日、出、谷、法、田、常、大、の、部、是、并、に、
二、箇、を、附、す、本、日、南、風、吹、き、荒、々、時、々、如、咳、
氣、之、地、不、定、の、就、事、を、懸、念、せ、し、む、候、に、概、有、
二、云、状、と、是、日、出、谷、碑、一、文、押、是、成、の、上、を、載、す、

相馬由也より来也

九日

烈風漸く収まり、晴、成、田、新、勝、寺、の、石、川、照、勤、の、訃、の、
田、代、亮、依、り、來、出、朝、来、印、を、弄、し、印、譜、に、數、十、
顆、を、収、め、十二月三日、伯、母、名、烟、山、を、方、り、し、本、
二、中、田、海、兵、衛、功、久、容、體、漸、や、く、す、物、品、を、教、心、地、
二、時、を、移、す、城、内、中、井、部、に、助、を、秀、道、の、物、漬、を、
贈、り、來、り、午、後、散、策、神、田、二、回、を、務、へ、四、谷、三、
河、原、二、飯、下、同、仁、分、を、來、出、夜、来、快、雨、を、
以、島、と、ら、を、久、の、着、後、と、也、

十日

日曜

雨なく、夜上山花見あり。鶴岡神社を参り、
夕暮庭物語を耽讀。好内へ向す。且つ二冊
の圖書をわ包こ寄送。二三の郵志を分す。此
後菊和紙文三の郵志到る。田代亮外へ送向。中不
邦之助：謝志を申す。二十一日、青保陰株主総
會の通牒到る。庭林を参す。

十一日

紀元節

雨、今朝も大浪老侯の侍記初巻を讀み此の万枚
程讀了。久しく大浪能子夫人：疎濶打さる。二十
一時訪問す。老侯の遺る茶螺形の杯と三夫人の

片身よりとて金銀二万圓を華銀に入らんとせし
る。十二時辭を因毛午後光を伴ひて散策。東洋
女子の映畫を見、神楽坂の田原屋に飲下り、夜
三時地酒あり

十二日

雨、朝日大浪老侯侍の箱巻を讀み正午参
る。枚を讀了。お特脚来物、日本衣油の由縁
中の(或平)の考状を抄り使を考す。秋後形
津若産考次を参す。又お茶を参り余の由を
讀み、午後雜録を著す。廿一日、紅葉録：鈴木法
相撰侍合の巻(如型)外一二の由縁を抄す

十三日

晴、風、朝来、大浪、疾、伝、行、を、候、又、十二、時、迄、
二百、數十、枚、浪、了、先、者、候、見、者、之、行、く、午後、
又、印、を、弄、し、且、く、考、多、を、忘、ふ、三、時、迄、
田、の、考、座、を、記、し、二、三、の、考、を、得、七、之、三、集、之、氣、
又、加、い、り、

十四日

晴、伝、記、の、稿、本、を、讀、み、事、候、又、次、中、才、功、長、
時、を、説、す、以、後、八、井、を、塩、麴、を、貯、り、来、り、其、
此、桂、河、に、り、と、候、法、之、才、十、年、云、并、之、娘、の、名、を、
貯、り、来、り、坪、内、通、退、山、田、教、訓、と、申、也、傳、也、

乙、外、出、走、を、候、也、本、意、の、公、座、を、功、心、傳、吾、物、二、外、
一、を、持、心、或、之、念、前、月、功、心、廿、七、日、廿、八、日、
法、師、中、之、回、り、後、具、の、状、況、を、見、し、之、の、喜、代、
四、其、也、

十五日

晴、風、並、木、元、才、功、馬、具、七、好、山、崎、候、中、才、功、
子、中、の、春、雄、と、い、ふ、よ、の、形、を、傳、へ、廿、三、日、
大、浪、疾、伝、行、を、候、也、中、田、福、急、来、り、山、田、教、
訓、之、教、心、記、七、也、此、余、の、致、味、の、新、山、陽、の、稿、
本、一、半、七、色、を、別、考、法、田、常、存、り、午、來、之、
日、出、谷、碑、全、の、御、毫、を、謝、し、七、来、り、午、後、其、又、

晴、坂上弘為、其の例の縁路江新と云く、中野禮四
 郎、森脇美村を招致し、大隈彦徳記編纂上
 の件、其の必要の協議を乞ひ、亦一期の務を
 八中野の手より、若輩裁修心より決し、他、教
 件、道行、関する事を定む、人を備へ、池村、肥
 前を施す、以て人馬橋松中印をも亦、大雅刻印、十
 五圓をも若輩守り、歸す、他、木印二顆、購入、高橋
 紫山の刻し、閑、之乗、七、能、和を筆す、真山寺
 又、託し、給、施、の、帳、十七、出来、此、後、九、四、並、也
 小栗高次郎、之、枕、と、是、す

晴、中田福五郎、其の例の縁路江新と云く、山
 陽、逸、子、追、加、荒、干、貢、執、業、中、桂、湖、村、本
 坊、終、の、法、話、又、刻、ある、其、邊、恒、花、年、稿、无
 并、多、賀、房、沈、こ、も、く、若、人、漸、や、快、方、文、三、分
 宅、を、報、す、曉、乃、神、樂、改、二、散、采、物、を、持
 り、て、之、の

晴、山陽、逸、子、其、の、書、の、け、の、分、録、し、り、又
 此、書、出、版、の、つ、き、序、言、十五、頁、行、成、る、文、三
 未、の、内、内、通、を、是、こ、一、巻、を、投、す、又、印、刷、物、二、件、

付七葉市治中一書を貰ふ、六開を得し印を弄
し且つ印譜と接し時を移す、午後神田に散
乗村に石を任典將又法將強旌國大
本を贈ふ、細山出彦二十日拂入、夜未雨也
り

二十日

雨霽、朝早旋帰とせず、村山詣しゆまの紀古二行
別式に依り香典十山贈る、小田嶋桂香を以て来也
光と久見翁に書を麻衣を為す、未脚分物と
付来功、おる校取をかさのえり、午後唐詩
贈送を讀且つ抄す、七葉市治中一書を貰ふ、六開を得し印を弄
し且つ印譜と接し時を移す、午後神田に散

状輕快と報す、以人の噓に依り惡虫數枚を化
す、江部漢文未交差紙に書り物を取ると、可須
脱稿の大段、庚子丑期原行年四の枚、海平、今夜
月食、光矢吹に報へん、帝國ホカニカク

二十一日

小田嶋彦中、高橋格四、(系系外城住氏者
父栄流と云々、年時代、画印のいふこと) 此状を以
て、拙書に包し、新紙のうら荒為、おく、(唐詩
唐詩聯送を讀み且つ抄し、る則と得、理髮味を
寫す、田代亮、(書寫を、根是、福田の同人と、飲
木喜三、)を、お、(書寫、)根、(其の、入、)を、被、

町内山者三の書状列る。抄録時を後す、十時正地震あり、高田夫妻より印刻を頼まふ。其間ハと正平とを依頼す心し、預金二万圓引出す、数家揮直毛令心の福を採す毎の閑に乘して習ふことく揮直毛を心掛くまふ中百也。古池ある印代のもく、又流五郎并に金銀松田流あり、午後佳ちて先とせ、数策上り、中用の細首を頼む。祇田の山本書名、五家お包代三十月拂、坪内道造、とて毎も、且の谷正き需め、箱十分年入の上舞道、一未、逸乃、栗高、中治、中一、而別物も件、付取接

町大江と頼つ、本流、後藤武夫と云をもとむ印出、一と書ふ、日課数家、揮直毛、高田を人、坪内道造、と云状を、及、山田教、概と頼し、字、頼味、之、頼、山、陽、の、お、頼、全、部、教、正、記、成、り、上、部、に、事、を、報、し、来、る、午、後、又、武、毫、佳、来、祇、樂、改、札、を、頼、め、先、を、初、使、く、き、り、神、田、の、書、坊、に、回、出、を、頼、め、高、橋、義、彦、と、し、来、る、石、塚、三、中、三、侯、満、之、友、弟、の、説、を、云、り、し、来、る、家、計、上、部、と、す、り、中、治、春、権、り、来、る、父、刻、と、六、侯、書、く、其、の、集、を、見、る、と、云、く

晴、真氣甚、風あり、物候時を移す、又龍河を
兼す、其生、正原庄より、身上の件、又、其、
田代亮、其、山、田、教、城、を、し、る、物、也、
別、達、其、指、松、中、甲、を、し、る、也、且、家、族、の、方、を、
教、板、を、さ、す、未、の、依、智、市、木、山、定、生、を、冊、子、を、
定、の、七、も、の、午、後、開、に、乘、り、神、皇、教、成、の、杜、
云、し、墨、を、さ、え、し、也、四、時、の、信、を、お、出、四、五、三、河、
領、す、和、田、番、を、さ、し、再、也、

廿五。

晴、正原庄を、甲、の、名、を、新、原、番、を、さ、す、一、也、也、
其、未、の、其、一、甲、地、の、前、分、計、深、木、村、の、文、也、

晴、し、云、し、未、の、山、田、信、中、田、福、を、さ、す、午、後、試、
教、成、の、今、信、一、山、田、教、城、を、指、松、中、甲、を、出、
す、其、未、の、其、田、後、確、小、深、隆、一、の、子、也、其、
事、り、家、上、に、云、す、大、德、一、又、未、の、
文、三、教、の、信、を、其、法、を、し、信、科、前、金、を、さ、す、

廿六。

晴、分、相、を、指、木、原、を、り、庭、柳、の、手、入、を、其、也、
波、配、一、甲、印、創、分、地、の、木、村、の、文、也、
杜、秀、其、也、其、の、海、也、印、書、高、と、口、説、其、
八、信、其、印、二、點、是、三、時、村、を、刻、せ、し、
考、に、印、其、を、托、其、山、の、押、其、の、其、一、紙、也、

一貫張原物原巻一個桂香を以て辨代を以て
返す。山本書底を以て束改和約合製一枚を辨
代。次問及之献書年次詳を以て江守一合托の要件存
可法。新法を以て為次を以て梨果一系贈り以て丹
吳宗を以て以て也。

廿七日

所 亦原書標松守を以て野菜カタニ千三番列来。右付
礼状を以て又。新法を以て丹吳宗を以て七出状を以て
又。用之乗して敷紙押。是も古池年々不用の者一二
出。之を以て印を托す。午後八時社に到り。木村の文徳
ニ。聞し。之を以て家す。又。休。為。高士を以て。倒。境。工。坊

復。其。二。件。を。協。議。す。表。を。以。て。托。し。之。を。送。出。す。
峯。の。橋。田。出。来。右。の。リ。の。倉。を。以。て。原。和。料。十。四。部。
リ。未。く。既。分。横。山。俊。二。部。有。法。核。本。原。来。三。二。部。

二十八日

時。以。抱。之。所。兼。行。村。宗。八。有。市。河。三。陽。の。報。
岩。為。次。を。以。て。承。也。又。押。是。粉。紙。成。る。今。核。本。
右。一。年。の。流。味。の。山。陽。の。序。宣。試。刷。の。為。の。倉。
社。へ。回。す。禪。壇。以。来。左。腕。に。神。位。高。を。受。ふ。漸。々。
愈。々。往。こ。た。手。に。ヒ。リ。く。と。し。て。ヒ。レ。し。る。子。あ。る。神。
經。の。記。し。ある。不。と。す。人。の。格。別。の。事。を。以。て。荒。し。
中。風。を。以。て。流。傷。あり。と。す。人。の。大。意。也。四。時。外。出。旅。の。

一二の事と昔に、江島波、前島と飲む、白森島、
烟山香太中の山に到り

二十九日

頃、坂上弘茂、来注財を多く、森脇合勢、有る事、
縁談の件、有る事、此、桂、治り、山、状、を、見、る、市、河、三、
陽、に、復、す、十、時、迄、を、は、り、外、出、来、り、の、琳、瑠、又、に、
山、如、代、三、平、山、拂、松、改、屋、に、籠、り、居、る、猶、ひ、日、本、
の、節、に、到、り、洋、金、を、賣、り、福、田、の、東、洋、キ、子、の、映、画、
を、見、る、お、谷、山、店、に、出、去、を、見、る、事、也

〇 三月

一日

朝、耳、雨、あり、終、り、雪、を、受、り、霜、の、如、く、山、の、嶺、に、
五、峰、の、修、り、つ、き、山、の、頂、に、松、梅、修、り、有、り、事、也、松、梅、
を、草、子、と、又、籠、り、居、る、事、也、難、波、理、一、中、に、事、也、山、
田、の、頂、に、有、り、道、邊、に、籠、り、居、る、事、也、二、度、し、来、り、大、
坂、の、山、に、マ、ヤ、の、宿、屋、有、り、古、殿、地、徳、講、後、に、市、河、三、
陽、に、来、り、事、也、和、の、文、三、日、り、静、身、に、し、事、也、
先、月、合、八、日、に、由、り、山、文、三、に、事、也、古、池、に、事、也、
紫、山、刻、印、木、章、一、顆、を、贈、り、事、也、以、来、有、り、松、梅、
の、修、り、有、り、二、枚、柳、葉、有、り、事、也、細、末、大、を、事、也、
午後、閑、に、乗、り、事、也、揮、毫、事、也、山、田、松、梅、有、り、事、也、

可

青松長根買山解

前日贈り得た印を

更ふ大也此木章鈕

ハ自然の凹凸を利用

し山状を為す頗る

手澤を研ん光澤

有玲瓏石の如く

款を脱す机上の珠

と為すを得し丹兵



康平の筒し、且つ松毫小切州教家と贈る旗印
昨も紫徽一函と寄せ未だ

二日

日記

昨日朝事お終時を移す、高乳未珠に紅を受ふ
十一時迄と付る暇を改め、物を焼く田あき河内
酒飲り、山分酒を棄て、山しきまきくを五十枚案
丹巻く郵送す、すつる七場しく身成成の要
女んこ七也丹共家えり、本志、午後所成押室
小切二十枚成り、立三身浦和も夫ら

三日

昨日、植木を二人来り、本馬田也中田通吾等訪、本家
銀行の年二千五百円、山分酒并五万圓、是迄更
二千円、田分年差入、お谷合も来り、千円預
金引出す、午後神田の山分と物あり、二の巻を

徳山山本書局、二月内細川、十五日拂、頼味小山
陽一序文●を誠心で但しを存する印刷所を四行
し来た、小田崎植香も来た、早大圖書館に本
布河三陽に送る。

四日

晴、植香を六本、朝本お録時を移す、小江草一
流大觀如電、圓展の日本史(天和朝)一冊貸出午後神田
より本町の四ツ目出と通り荒平を過りて其の植
香邸に於て其の間、高田も京都表の薬子に病
後杉原親善の信を請ふ、杉原の余も此に杉原
の城主也

五日

晴、植香の清業一巻を是より其の海峽の事、其
より田代亮の本流、植香屋引の事二人未だ金
百円内あ、交付す、正午外出村の土産を
日拂入、凡月巻、飯す、十二日(さ)地震あり、
り、午後半切七枚揮、其、六時、見島品を
す、雜録を筆して其、又の、旗印婦、物を
送す、大概如電、其、其、

六日

晴、雜録を書き、時を移す、植香清業一本
海峽の件より来た、高橋松四郎も来た

又葉子の為(葉流自心)并(葉葉を)
くりすまう、而(葉)物(葉)の揮(葉)を(葉)とめ(葉)る、
植(葉)木(葉)を(葉)二人(葉)引(葉)つ(葉)き(葉)ま(葉)る、氣(葉)候(葉)漸(葉)く(葉)和(葉)ま(葉)る時(葉)：葉
研(葉)：葉(葉)み(葉)帚(葉)を(葉)取(葉)り(葉)て(葉)庭(葉)：葉(葉)立(葉)り、横(葉)山(葉)俊(葉)ニ(葉)申(葉)す(葉)ま(葉)る、
又(葉)敷(葉)家(葉)押(葉)置(葉)氣(葉)分(葉)快(葉)流(葉)を(葉)缺(葉)き(葉)字(葉)者(葉)の(葉)如(葉)く(葉)ま(葉)る、
墨(葉)利(葉)ん(葉)ま(葉)筆(葉)を(葉)収(葉)め(葉)積(葉)り(葉)今(葉)雷(葉)雨(葉)あ(葉)り(葉)風(葉)こ(葉)の(葉)次(葉)
く

七日

晴(葉)烈(葉)風(葉)程(葉)打(葉)出(葉)部(葉)倉(葉)産(葉)達(葉)葉(葉)の(葉)件(葉)自(葉)来(葉)山
田(葉)内(葉)許(葉)て(葉)来(葉)り、十(葉)時(葉)も(葉)日(葉)出(葉)刷(葉)合(葉)北(葉)の(葉)重(葉)役(葉)合(葉)：
臨(葉)り(葉)二(葉)竹(葉)後(葉)典(葉)之(葉)件(葉)出(葉)版(葉)即(葉)地(葉)内(葉)：出(葉)張(葉)二(葉)坊(葉)達(葉)葉

之(葉)件(葉)を(葉)考(葉)す、丹(葉)兵(葉)原(葉)平(葉)も(葉)来(葉)ぬ、出(葉)張(葉)半(葉)切(葉)出(葉)張(葉)切
敷(葉)家(葉)加(葉)原(葉)高(葉)橋(葉)宗(葉)茂(葉)新(葉)送(葉)す、植(葉)木(葉)を(葉)引(葉)續(葉)二人(葉)申(葉)す
本(葉)日(葉)と(葉)掃(葉)根(葉)の(葉)修(葉)理(葉)を(葉)お(葉)こ(葉)す、出(葉)張(葉)七(葉)時(葉)を(葉)移(葉)す、
廿(葉)八(葉)日(葉)三(葉)人(葉)合(葉)の(葉)江(葉)葉(葉)級(葉)：通(葉)先(葉)す、

八日

晴(葉)唐(葉)井(葉)一(葉)身(葉)後(葉)植(葉)木(葉)を(葉)二人(葉)来(葉)り、出(葉)張(葉)合(葉)井(葉)道
物(葉)を(葉)引(葉)き、午(葉)時(葉)引(葉)出(葉)：田(葉)を(葉)晒(葉)す、又(葉)草(葉)を(葉)晒(葉)
ひ(葉)風(葉)月(葉)を(葉)に(葉)晒(葉)す、其(葉)満(葉)生(葉)倉(葉)保(葉)持(葉)く、十三(葉)日
出(葉)張(葉)半(葉)切(葉)出(葉)張(葉)切(葉)拂(葉)り、午(葉)後(葉)亦
揮(葉)毫(葉)紙(葉)を(葉)き(葉)り、洋(葉)花(葉)を(葉)晒(葉)す、来(葉)り、ま(葉)る、
葉(葉)引(葉)く、葉(葉)：揮(葉)毫(葉)相(葉)初(葉)り、田(葉)を(葉)晒(葉)す、汗(葉)流(葉)す

会(十九日)日本領事(七)の通牒、早大教授達(五)の
大隈(五)の(五)知判、若原(五)未(五)存(五)長(五)を交
付す。

九日

日曜

坊上弘花(五)事(五)例(五)注射(五)を施す、神任(五)商(五)次(五)座
の注射(五)七(五)併(五)せ(五)又(五)く(五)高(五)田(五)一(五)此(五)の(五)事(五)大(五)費(五)熱(五)と(五)す(五)と(五)電(五)話(五)
下(五)高(五)花(五)を(五)河(五)中(五)田(五)治(五)信(五)と(五)山(五)崎(五)影(五)を(五)贈(五)り(五)来(五)る(五)。(五)新(五)野(五)
三(五)東(五)高(五)司(五)所(五)送(五)字(五)一(五)衛(五)と(五)植(五)石(五)危(五)三(五)備(五)根(五)と(五)終(五)紀
可(五)先(五)同(五)伴(五)出(五)了(五)下(五)谷(五)松(五)枝(五)屋(五)に(五)拍(五)を(五)贈(五)ひ(五)東(五)洋(五)キ
子(五)の(五)秩(五)書(五)を(五)祝(五)四(五)谷(五)三(五)河(五)倉(五)に(五)飯(五)し(五)と(五)く(五)村(五)山
話(五)に(五)ゆ(五)と(五)拍(五)を(五)贈(五)り(五)来(五)る(五)早(五)大(五)と(五)決(五)算(五)出(五)判

2、寝後小説を讀む、

十日

時、五時(五)地(五)下(五)者(五)あり(五)植(五)石(五)果(五)後(五)誤(五)り(五)事(五)流
古(五)池(五)事(五)り(五)十(五)時(五)も(五)出(五)版(五)部(五)の(五)重(五)役(五)を(五)臨(五)み(五)会
庫(五)建(五)築(五)の(五)事(五)印(五)刷(五)工(五)体(五)の(五)件(五)等(五)を(五)協(五)議(五)す
森(五)陽(五)事(五)務(五)本(五)局(五)あり(五)一(五)間(五)を(五)森(五)陽(五)に(五)付(五)す
文(五)の(五)場(五)合(五)全(五)部(五)に(五)関(五)す(五)新(五)野(五)高(五)原(五)庫
四(五)谷(五)三(五)河(五)倉(五)田(五)中(五)某(五)事(五)務(五)本(五)局(五)の(五)三(五)者(五)坊(五)を(五)訪(五)り
七(五)若(五)干(五)の(五)圖(五)を(五)得(五)て(五)く(五)る(五)植(五)後(五)高(五)原(五)高(五)松(五)四
郎(五)も(五)味(五)噌(五)一(五)村(五)利(五)事(五)新(五)野(五)を(五)訪(五)り(五)て(五)数(五)々(五)と(五)答

十一日

所、同、相、来、雜、品、を、筆、す、植、木、屋、三、人、来、り、内、出、者、
三、色、車、也、保、誤、一、件、有、真、偽、の、区、別、を、考、へ、
午後、田、制、重、山、梨、紅、の、遠、報、奉、三、を、信、し、来、り、物、
を、贈、り、也、畫、の、鑑、定、を、頼、ま、ん、數、幅、觀、且、つ、若、く、
四、若、し、拙、毫、數、紙、を、贈、り、加、賀、章、三、紙、は、皆、新、稿、
之、件、二、封、来、後、十、二、年、及、未、四、期、合、所、得、稅、其、他、の、
繳、書、日、列、り、内、務、人、寬、病、志、と、す、く、

十二日

所、植、木、屋、三、人、来、り、直、業、桑、式、二、封、直、流、を、奉、出、り、
久、寛、二、兄、名、狀、を、考、へ、高、橋、松、中、の、一、封、禮、狀、を、考、へ、

種、打、桑、賜、二、封、有、校、友、瀧、瑞、善、一、封、の、封、利、り、久、保、美、
父、子、唐、井、一、加、賀、早、三、封、功、也、二、白、動、車、を、送、り、
午、時、上、野、物、奉、新、一、封、り、新、稿、稿、二、封、若、田、増、資、
兼、二、増、藤、の、件、二、封、也、重、後、會、を、ひ、ら、く、三、時、を、畢、
り、也、早、桑、賜、桑、式、封、出、版、印、を、送、り、刊、出、
三、部、配、本、外、原、高、橋、榮、流、死、云、の、雪、報、刊、出、

十三日

雨、八、時、地、震、あり、朝、集、泊、を、考、へ、外、原、高、橋、と、梅、
狀、秀、典、五、封、郵、是、村、井、松、中、二、方、田、也、是、中、田、
福、吾、偏、是、會、合、つ、り、物、奉、り、也、市、河、三、陽、也、是、
也、山、本、彦、房、四、封、也、伊、部、日、為、め、り、余、の、海、流、を、也、

と云、随筆的筆法を善、録でいふ午後係道院
へ控ける漱端の先、式に臨む、ゆ運神田に四つ二
三の虫店をゆひ、回をを懸る、かつ、出版部を、六月
返金の約、五つ、田借入、城取、今井、巻
四つ、

十四日

晴、風、赤、福、美、街、合、格、自、来、水、改、山、の、古、代、又、其、の、堂
か、船、渡、木、の、本、四、冊、代、主、十、四、社、掛、十、一、時、由、郵、車、を、御、免
縣、市、材、木、所、に、内、務、之、寛、の、者、を、問、の、物、を、贈、り、七、元、也
平、金、怡、金、四、各、の、三、河、屋、に、送、し、神、田、の、虫、店、を、ゆ、ひ
細、川、一、二、の、回、を、懸、り、三、十、田、掛、ゆ、り、後、院、録、を、奉
す、引、割、入、沙、州、の、浅、水、を、ゆ、り、回、を、懸、り、五、月、
掛、神、田、に、回、り、凡、月、に、酒、を、一、七、之、の、松、雪、を、
ゆ、り、代、五、田、を、奉、り、掛、り、

十五日

晴、植、木、を、え、来、り、朝、早、に、院、録、を、奉、り、去、田、中、穂、枝、等
祐、井、上、辰、六、の、ゆ、り、出、状、を、奉、り、十一、時、文、の、編、り
の、終、録、を、ゆ、り、今、本、の、出、状、を、奉、り、ゆ、り、後、院、録、を、
抄、録、し、二、時、早、大、の、庭、掛、を、奉、り、ゆ、り、後、院、録、を、
を、法、夫、十、三、年、の、百、二、十、六、番、目、に、上、り、後、院、録、日、本
從、事、部、に、送、り、ゆ、り、同、者、を、領、部、の、評、議、員、に、送、り、ゆ、り、
お、の、と、其、り、九、時、物、を、直、院、掛、次、り、ゆ、り、来、り、

不在なり大吹者三身より、柳馬垣より、其の久
以來一合社の安件より、其の久

十七日

日曜

町、植木を六引つ、キコシ、大森の七井別
荘に内く、二三の虫状を藪より、松村松年の生物
界の神祕を讀む、午後一時大隈分館にて文の
協会の晴島宗祐君をいし、内田定規内原伸
の講演あり、内田と地窟に對する遠東の保健を説
き、内田は土耳其の國情を語り、各々其の萬に誇り
五時五分を閉つ、其の會者百二十名

十七日

町、井上辰次郎、種打富い、小久江城一、其の
植木を六引つ、橋を修繕し、又森棚を心く、松山
忠二郎より、其の虫状を讀む、午後一時大隈分館にて文の
協会の晴島宗祐君をいし、内田定規内原伸の講演あり、
内田と地窟に對する遠東の保健を説き、内田は土耳其の國情を
語り、各々其の萬に誇り、五時五分を閉つ、其の會者百二十名

十八日

町、小久江三回、其の虫状を讀む、午後一時大隈分館にて文の
協会の晴島宗祐君をいし、内田定規内原伸の講演あり、
内田と地窟に對する遠東の保健を説き、内田は土耳其の國情を
語り、各々其の萬に誇り、五時五分を閉つ、其の會者百二十名

五葉集并儀、文三を代理とも考ふる考典十四巻
可田村在次郎之文の公説の分針を綴る可尋ゆ余始
文換集編輯と題する、午後散策時を移す、ゆ宅
後加島通、次を功物と題する、國之鼓の如く二
三の巻に云々と記す、

十九日

昨、又江村一合社の遺記考よりき、東漢古池書齋を
持参、印譜一部、古書代筆の由り考ふる、**田取味款**
山陽の首郡、揚子江と長文の福を起し、**まの**
考ると成る、田村在次郎の考ふる文の古説の注、**高**
と記す、**後後**記す、石塚と考ふる、**電**上京と記す、**未**
の、**水原**身橋と記す、**河**状と記す、

二十日

昨、石塚より着きたる、**河**選考、**漢**と時と稱す、**宇**
佐美方十巻、三人午飯を世つる、**水**谷、**表**表、**こ**
物代、**丁**向、**佛**通、**鳥**、**山**、**金**、**石**、**田**、**説**、**四**、**冊**、**贈**、**入**、**森**
脇、**美**、**村**、**今**、**終**、**自**、**其**、**次**、**高**、**橋**、**松**、**四**、**部**、**多**、**耳**、**玉**、**植**、**木**
危、**所**、**り**、**を**、**高**、**棚**、**地**、**り**、**り**、**本**、**の**、**石**、**院**、**民**、**界**、**に**、**池**、**を**、**の**、**大**
石、**を**、**後**、**藤**、**の**、**子**、**今**、**り**、**を**、**植**、**木**、**の**、**仕**、**り**、**り**、**石**、**塚**、**を**
叙、**余**、**の**、**家**、**に**、**在**、**す**、**楚**、**山**、**金**、**石**、**田**、**説**、**と**、**後**、**記**、

二十一日

而、坂上石花書り例の注射を多く、大津津下中車
リ造り多運動費、つゞ云々の依託を多く、直次
夫婦亡才築成の色鏡、身、己原惟成、李
良美研研究合も、大和三輪石佛二魁の振本二枚
并、言三枚を贈り来り、亦今母ハ一、原
寶生寺佛像大観三輯、贈り来り、近口閑
乗、七試毫の切大小五六十枚石像、遊不、遊遊坊
裡の郷人、遊く人と云、任せて此贈を為す、午後散
乗、荒干の回を待て、之、雑報を兼し、お入、夜
専快なり

廿二日

明、石花此紙、之、陽方、留し、之、能、詢、り、来、り、和、み、文、三
と、早、大、の、事、務、を、ら、う、し、ら、う、り、略、と、決、り、し、小、久、江、上、り
云々の電流あり、朝、山、易、飯、味、録、の、本、格、を
心、り、す、り、と、費、す、新、島、政、々、も、北、條、清、流、二、部
別、達、午、後、散、乗、神、田、の、二、三、也、店、を、訪、り、し、ハ、一、二、
服、部、耕、石、二、状、を、見、す、新、島、政、々、の、振、田、友、人、也、(廿七
日、上、野、村、表、の、紙、) 也、如、書、到、り、今、夜、石、花、切、玉、の、金、に
就、く、夜、来、り、也、

廿三日

日曜

此、赤、合、を、赤、勝、美、村、の、湯、之、到、り、お、ま、あ、政、の、拂、三、十
二、圓、協、洋、洋、政、ハ、大、浪、合、銀、の、件、を、再、次、贈、部

耕石事跡の長崎の官法す且つ家範の印を先づ同慶
正午賜りて、京都の谷村一たり其の長崎の官
法七去り北城の部給る、冬去り後光を以て
教業、浅合、色、固、山、を、辨、心、銀、生、の、田、り、天、金、に、飲
し、之、を、今、秋、昂、去、吹、連、と、因、西、に、赴、ち、く、内、山
有、三、と、其、也、

二十四日

町種村家八出部部、安得、身、其、法、打、物、大、改、の
四、洋、起、先、出、改、部、の、出、法、傳、演、其、傳、一、き、其
法、極、海、島、火、を、辨、心、也、於、は、物、を、給、り、其、も、真、法
杜、法、中、の、も、燒、白、魚、を、給、り、其、も、十、百、内、法、を、合、法
法、の、を、其、の、大、津、津、法、を、給、り、其、も、其、法、に、伴、等、を

法し、由、終、凡、日、者、に、給、り、初、め、文、三、を、給、り、其、の
身上、し、文、を、極、法、す、内、子、其、法、を、其、法、に、久、も
法、の、故、谷、口、豊、中、の、義、中、海、軍、少、佐、大、完、由、取
り、其、田、の、全、集、出、改、り、余、に、其、法、を、其、法、に、
と、と、七、と、其、法、を、其、法、に、大、津、津、法、を、其、法、に、
録、を、其、法、に、其、法、を、其、法、に、其、法、を、其、法、に、
三人、今、今、今、へ、其、の、法、を、其、法、に、其、法、を、其、法、に、
と、と、四、月、に、其、法、を、其、法、に、其、法、を、其、法、に、
と、其、法、の、所得、税、其、法、を、其、法、に、其、法、を、其、法、に、
三、職、有、き、に、其、法、早、稲、田、の、新、興、夜、を、其、法、に、其、法、に、
と、其、法、の、こと、を、法、し、其、法、に、其、法、に、其、法、に、
家、計、と、其、法、に、其、法、に、其、法、に、其、法、に、其、法、に、

廿五日

朝、朝日遊船を乗す。古池より廿五の山へ下り、
舟を打たせ、遊ひ入る。河内刻も古池を鑑定せよ
と郵送し、未だ文三妻の身も、小田の桂香に乙を
寄せて北印を示す。午後散策、
卯の琳瑯園、朝鮮本東照宮寶鏡
を購ひ、神田へ廻り、偶々早大の自動
車に、行進し乗る。夜未雨、雨
の道宿にす。



二十六日

雨、難保と早も七時を過ぎ、大津渡一丁より車道

午後茶標、信々雨をおく。七光田、浅州に
市岡、映畫をみる。四時、松待、店し、興後、初
め、列の、四谷、三河、辰、故し、七、二、日

二十七日

雨、本、眠、美、附、棒、亦、七、馬、池、遊、山、湯、紙、の
至、好、と、心、す、天、の、協、合、刊、本、二、月、分、配、本、午、後、既、味、の
新、山、陽、の、古、箱、を、懸、理、し、試、み、目、録、を、心、す、至、好
紙、板、物、午、五、分、五、十、分、校、先、先、元、治、中、三、公、批、を、寄、る
國、府、河、内、方、向、早、大、早、大、石、塚、も、七、才、子、出
前、此、場、芝、田、の、後、七、公、批、を、寄、る、五、時、三、上、空
新、美、野、軒、の、新、り、早、大、友、會、三、志、心、十一、人、卷

念時六十をこえざる也。中庭義天を以て身也。
大石理用と云れを出す

二十八日

晴、古池来り柳外の畫冊録を、前日寸牘二古池を
以て柳外の畫冊録を、前日寸牘二古池を
畫のり、花をんのもめ久遠も、あふる結血集
を配本も来り、来月四日大隈宮録、十分をい
く各早御の中へも、あふり別々、文三来り今日も
學校に勤務、正午に雪午うく降り出づ、下林久
雄を妻入院を報し来り、植木を材料平河代る六
十日の掃り、雑紙を著し、此時を移す。

二十九日

晴、朝日山陽録の系福を伝る。木崎如香、同く打
井銀軒も、二十日分の伝を二日用借入、内子下
林、兄をいり、午後高田を大石、治を伝、伝志出
版部、到り三四の二案件、を更し、夕刻に到り物色
不在や、先立え、伝を、感、日の氣味、あつ
沁と感し、早く断り、夜後雨到り、皆身寒
氣甚し

三十日

日曜

晴、感冒氣合、融、朝来山陽録、あつ、のつ、を伝
す、同、行の、印、物、書、大石、理、用、身、山、陽、録、の、後

正を托す坂口獻吉、大津浦一舟、中途長三、文三、
訪、午後木崎、愛吉、其山陽、貴と、行書、
有、午後一時、大隈、合、飯、保、樂、の、伴、
從、う、元、を、老、子、増、子、喜、下、
湯、逸、多、の、原、行、を、
文三、を、す、

三十一日

明、以上、弘、
り、大隈、
贈、
山陽、
山陽、

満洲、
来書、
未書、

〇
四月

一日

明、
有、
梅、
行、
送、
本配、

二日

尚朝丹山陽より録を好むに必し二十枚を成る、
中田通吾相に請葉、古倉庫回中、身功、内藤下
り雪流あり大津海よりと信札の送る者あり付瑞意
と傳ふ、且りる大津：報夫、未崎好為二一書を授す、
新内原井志ち中書函を呈立二付日録数冊到来、
午後よりあり、往中十印に出状を成り、回中飯場
より四月二十三日長崎市に於て十八回大分を聞くの
通牒あり、早大にと紙打買合のあり、賤あり（八日午後
石塚高海、相に請葉再訪

三日

神武天皇の祭

雨雲、飯後北道に出、桜井庄よりと禁殿一函あり、此は
眼鏡を焼く不便ありと、標信の助金、由眼鏡店に
修理を依頼一個成り一個贈ふ、他二個修理の必要あり
く、午時外葉より酒飲、相踏、神田の由地を
訪ひ二三の者を贈りて之を、不在市、克元次、中、
坂、木崎、政、よりし、其由、去る、大里、よりあり、
此、人より物と贈る

四日

曇天、朝丹山陽録、厚信、十六枚成る、未崎、身功、相、
平内山者三三、間、中、松井、心、久、入、管、中、に、あり、満、約、除、隊、と

報(未)午後又草稿若干紙をせし、五時を以早稲田中
の招きを應じ大隈公館に到り校の同人と晩茶をせし
す

五日

曇、寒、海部良吉を中野鐵道の外に種村出版部の件を
尋ね、十一時外出、赤田の土地を以て稲生に譲り、皇田
眼鏡店に立寄り、川葉に飯を、田谷税務所を以て賦税に
付吉止致す、午後赤山陽の原稿を以
十枚成す、

六日

晴

晴、朝また山陽の原稿若干枚成す、大石理山来り、

詩集編み持桂湖村を去り、難波堤一帯に來り、大
津濱一帯を以て、古方薬を致し、五冊を以て、價二
五圓也、午後、支田村の武蔵館に映畫を
観、旅中、坂の四原屋に飯を食し、午後、八時、
原井忠吉に、もう一本、石塚多助に、もう一本、電
話料ゆきに交付、夜、八時、雨志を以て、降る。

七日

雨、朝、山陽の原稿と此、竹内孝の原稿
を以て、宗家より、慈光院三十三圓を以て、大隈一
周忌法要に供物を贈り、未だ十時、印刷
会社の重役會に臨み、二三重案を以て決す、午

後回年：改本嘉治山陽の義一様打森陽と今
し大畏居居信記編纂家ニ申二年目決算報告
を以て前送ニ進行印刷等ニ関しお命を乞
三時半由巻赤山陽録の系稿十枚を以て、
内山者三ノしと申出、四枚税務署、代記を乞し
を以てす。

八日

此山陽録の凡例等しり、山陽氏系譜増補の
稿成り、年表原稿大石理山：托す梓村向原：也
状と申し、市田と申す、山陽の材料、竹京都鳩
居也然、各信書ニ一問を投す、午後早大の維持

又今に臨む、出版部と山陽録の原稿を以て、
元、そのり作抄之令、於七瀬洋のり、改本ニ
と早稿のり、長と申すこと、出版部ニ表地
下六番三千四百と申す、其法定、方回を以
建業入札ニ結果二十、其巻を七、四、二上取
但、後札の報告あり、そのり、長、今、余
座も席に就く、夜更あり

九日

雨ぬ、雨ぬ、朝山陽録を讀み、名稿十
枚、改本、松文中、青、不用、回、也、若、干、此、價、千
四、十、其、其、の、内、く、先、申、中、回、論、を、今、終、に

のき身功花を始る、午の出浴所の誕生、物を
海に舟、葉、酒飲して之、其路桂次、リ、
紅茶二罐おく、酔後亦山陽和原行を記す、

十日

天明和山陽和の原行を記し、内山者三直
の石油時、積、連、載、り、合、か、連、節、を、第、一、部、と、し、
滝、主、或、流、り、来、法、大、隈、合、館、切、符、代、三、五、月、拂、
古、池、業、三、印、代、五、十、日、掛、り、廿、六、日、石、分、地、合、
通、牒、到、り、出、版、部、も、横、山、橋、吉、の、近、著、世、景、の、奇、観、既、本、
午後相見、来、一、身、功、尖、後、の、美、術、の、つ、き、吉、時、
流、し、て、去、り、し、り、按、用、の、日、法、印、副、合、社、の、出、版、部、
其、振、付、合、も、あ、り、出、席、

十一日

天明、岩村、志、高、と、い、ふ、名、人、も、あ、り、而、合、も、と、あ、り、
市、の、治、郎、八、の、血、屋、多、種、の、一、族、の、田、を、得、り、
一、種、と、い、ふ、の、文、を、元、治、り、来、法、午、合、を、
山、陽、の、血、屋、と、い、ふ、後、し、岩、平、の、林、料、と、得、ず、
本、(更、那、版、日、本、外、史、一、部、と、記、す) 午、後、又、山、陽、
原、行、二、十、数、枚、を、得、り、夕、刻、迄、心、を、上、に、
り、初、稿、と、報、し、来、り、早、大、隈、合、と、し、
振、付、の、書、状、来、り、

十二日

昨、朝来山陽線の原形を必り二十枚枚成る。坊上
弘義寺の例の二種の法帖を各々、向ふて寛く
金身入玉状を為打使未る。宗家も法帖供物
の送付に香を郵送す。市河三陽も、其書、同古
版法政刊部如女を刺達。早大も維持会を設て
刊す。午後借て出遊。作原復三、新内務局長
と就任の挨拶状刊。修理中の眼鏡二個成。少
根生政田厚庵に致す。牧葉中、濠洲の梅苑を
又、漸やく満洲に也し

十三日

日曜

雨、木崎の尚日本金石史の著者、士院、交、実、天、三、月
一言を寄せて祝、又、先者、元、出、中、一、云、を、り、し、借、也
の日本外史、福本五郎、十、万、和、漢、者、日、紙、分、類
科目改正の件、を、同、者、致、の、高、秋、久、を、を、
昔の通牒を多く、城後出身、校友、主、原、正、二、
余の母、故、も、新、内、銀行、に、入、る、を、得、り、と、を、謝、礼、の
為、り、又、来、る、大、石、理、田、東、流、木、炭、代、五、十、日、井、長、崎、
市、に、レ、ポ、ル、ト、の、代、名、向、を、開、く、を、成、す、(同、者、致、
今、ち、向、を、向、不、に、開、く、事、)と、り、を、ん、を、も、差、支、さ、
出、席、を、断、へ、す、午、後、一、時、大、隈、向、館、に、到、り、文、政、協
会、の、講、演、会、を、備、え、日、置、公、使、長、官、将、軍、の、講、演、会、
り、六、時、分、を、開、く、本、の、同、時、刻、早、大、卒、業、式、也、

三利り編輯し、予并、文内と院の決案を協定
す。午後早大回考館の編輯室に於て、目録
編成之項目に就て討議。又副書目亦テ凡
行き等の校教授招待等、二時頃大
而到る。石塚立候補等、且来書向：城後
社、應接湯沢とちきん、こと亦、其、
を、石塚余の家へ宿す。不中、妹尾房次
来訪。

十七日

雨朝、早大山陽館の稿を修む。田村在次、
物、予、早大、十時出版部に到り、定式重
合をいこく。午後、後大隈館に到り、

剛地の新書陳列を見る。妹尾房次、
来、二十七日、早大、行支店、之、
陽、行と、敷、池、し、立、時、高、向、と、
の、自、美、軒、に、到、る。後、海、山、を、
有、る、と、い、ふ、事、に、到、り、
典、ある、京、都、青、和、田、
好、々、と、い、ふ、事、

十八日

雨、山陽の原稿を修め、時を費す。平松、
郎、梅、井、在、平、お、様、く、ま、り、
有、る、竟、の、親、戚、関、谷、を、候、
有、る、事、

内原に云りの交渉を為さんことを囑してある筈
と松井正夫とあるが其の午後8時を以て午後七
山陽の行を教正理し四時より巻を以て出遊神田
の書店に一二の巻を得銀座の休業に似し夜に入
り帰宅先回付

十九日

雨今早朝自動車を通り麻布村市所内原を
訪りて魚沼郡岡谷第一立候補し件は協議
す掃宅後接井庄平山本著信義又一
お折りと来る間谷と件と云ふ余ら
今朝内原と交渉に力を用ふる所あり

是日早朝山陽に回者を示す内原と舟を
付す午時片山原尾に在り午時を以て
別の余は早大にあり回者録日録編成
二巻又五時内原と接する銀の牛入
其に招くは早大にあり其後高橋松
と山陽録を以て其の直に柱次郎
和田
著書(東都)山陽録を以て
教正理す

二十日

日曜

昨、改上松花身事例の注射を受く山陽の原
稿を校訂教正理す、関矢一と電話す

謝言を表し来り、中納言春雄さまに物と贈る。一
つ橋大なる田舎屋(三十の河原)の道(印)来り、午
後理髪本町の珠玉の店を訪ふて表平の御心
を婚心銀心の林美と御返しとす。

二十一日

晴、四月廿日大畏法師(百日祭の末の大畏家
より来り、雑銀を奉り、種村宗八中田浦元
吉元次郎十右衛門元吉より二三の材料を以て
午後山陽鏡十枚方き送す、早大田吉成の儀
を懐くを危を帰る、又雨を伴ふ来り、
夜に入るまで山陽の行を終る。

二十二日

晴、風、朝耳山陽の行を修め十枚枚をき
直し、おのりを買す、山田信成さま、おのり北有
の御書、大観二十冊おのり、四五の元、まきを
し、御用を并す、直つて桂の御書、永く御用
より御書復し、暮金の御書、御書、御書、御書
也、此火重刻の御書、御書、午後七山陽の行を修
め、夜に入るまで山陽の行を終る。

二十三日

晴、朝耳山陽の行を修め、午後、森脇分
野のつぎ、おのり、鏡鏡より、おのり、御書

ふ。為り、松平幕閣の一河を投ず、小田崎柱巻
らして、本出直に答ふ、午後四谷に受位所、飯森
袖海を訪ひて、丑書堂に帰編る、つぎ打合を為す
袖海に、茶菓子一函贈り、五時頃迄、奈高、和田
萬吉とて、廿五日

廿四日

於、朝来山陽録の原稿を終む、森脇合縁より、
来る、濱田城士より、三本、英蘭史二部贈り、午後又
系稿の補作に没頭す、三時頃迄、神樂坂に物を將
あて、つぎ、雜報を草す、つぎ、和田萬吉
宇治、濱田、坂上、花井、上野、中田

回古館去り、廿五日

廿五日

晴風、中田酒無、合縁、つぎ、文の場合らるるを
覆す、朝来山陽録を補心し、廿日を長
日記り、つぎ、廿五日、午後七引つぎ、山陽録の稿
を終む、夜に入り、雜報のつぎ

廿六日

和氣未だくも、中井素大の計列、朝来山陽録
の原稿を補心し、三時頃迄、長崎のつぎ、田中
大令、出立、奈高、つぎ、つぎ、廿五日、並、本、完、了

訪 柳橋梅井元平、とて選考(一)き、來信、予
後、倦して北四の古碑を訪ひ、村に子次郎と稱して
銀座の株葉、酒飲ち、日本石河合社と配り、大
の四十の七十、美鶴、徳川頼倫、友、と來書、
又梅井元平、とて電報來り、下、來書、未。

二十七日

時、内蔵と依頼の鏡、松原、原、四、とて、
未、且、内、為、郵、送、す、北、島、沼、選、考、一、件、に、付、
梅、井、元、平、を、招、き、打、合、の、上、梅、井、元、平、に、及、び、
と、書、す、又、郵、書、を、授、す、午、時、出、遊、休、安、の、原、
石、に、飲、み、先、日、付、新、宿、の、活、動、守、美、と、見、し、か

(一)

二十八日

時、庭内、新、縁、漏、り、早、朝、帝、を、執、り、後、書、を、と
掃、り、一、快、也、亦、山、陽、録、の、原、を、補、修、す、活、水
泰、次、洋、行、の、先、外、の、為、め、と、書、す、古、池、書、三、七、五
來、り、午、後、と、て、大、隈、別、邸、に、到、り、石、炭、天、人、一、年、祭、の、式
に、到、り、新、宿、石、塚、の、中、に、集、士、八、十、の、電、報、到、り、
亦、石、子、校、時、代、の、四、友、大、庭、午、時、出、遊、大、隈、別、邸、
柳、橋、元、平、と、書、す、大、隈、家、に、供、物、十、四、點、を、中、井、元、平
より、書、す、式、に、梅、井、元、平、に、中、狀、を、書、す、又、田
代、亮、外、に、書、狀、を、書、す、入院、中、の、久、吹、良、世、中、を

二十九日

明、初年山陽録を補心す、内原より使者より
物も贈らる、大津遠一より送る長久堂の御金
魚乃田録板、松平康國の書状を呈し鏡
銘に附世帯に十品又を贈る、大石理田より
桂二條より山陽の詩評、要録を持来り
段上弘義、書幅を贈る、又新学居を
空より贈る、祝物持来り、由子行く、古池素
三才の買物代二十圓、海子、七ヶ島、森田
三毛より来り、新井郡沈心と送る、森田後
来り、その心狀来り、午後出版部接上大
隈侯御記の編、其心と送る、進行のとき協議す

五時、榎澤博士より洋行の結算、今分の幹部
ハ博士を大谷池に臨の旗亭に招き送る、あし
心、を催す、古柳道進を新居の送る、森田後
ハ孤老より来り

三十日

明、四代亮の墓、木戸松菊侯遺印、三顆、贈る、
森田より、自來車を贈る、森田、大隈侯を物
して来り、四ヶ島の浦、森田を、日部、開く、森
種、お公を為す、森田、大隈侯、一ヶ島、
内原、森田、森田、森田、森田、森田、森田、
四ヶ島、森田、森田、森田、森田、森田、森田、

：囃し字印二顆成り、桂秀と長時石法し半
後別々山陽録を修む、桂五丁の田代喜友
内為久寛：山状とあり、松平原圃
来乙六古所、物界が田古領法、見し来乙
平山堂：所けり互き、字、岸山の木像、虎り来乙
今夜四谷三河原：一、塔、石、日、定、今をいへり
荒川田中、古、字、去、方、文、石、波、原、田、所、河、石、川、堤
山田并：余、玉、席、一、余、二、三、子、と、酒、二、子、と、他、皆
健、喚、平、均、六、人、前、日、の、内、と、交、け、な、し、の、七、人、あ、り、六
十、を、緋、へ、字、連、中、高、古、氣、お、と、春、時、人、上、子、を、皆
ふ、す、と、一、笑、す、余、席、上、田、中、心、美、し、米、田、河、原、を
論議す。

〇五月

一日

十四、段上弘花、十日、法、財、を、施、す、相、承、難、解
を、筆、す、り、時、光、と、柱、と、田、原、局、に、飲、し、新、宿、の
武、尾、吟、館、に、映、畫、を、観、夜、二、入、り、由、路、又、津、来
段、に、飲、し、七、か、へ、三、新、宿、松、井、郡、法、を、来、電、内
着、久、寛、市、河、三、陽、も、来、乙、中、野、欽、法、と、法
事、の、供、物、を、贈、り、来、乙、

二日

晴、松、井、郡、法、に、返、電、を、為、す、高、田、夫、人、に、晴、打、刻
印、二、顆、為、持、造、り、松、平、康、圃、二、一、間、を、為、り、古、池

書三々長三洲寸帖并印三顆を熨小價五丁内也
小江集一合此

紫



の付有る法電

山

荖慶刻

法料金十四山

紫



高安紫山和印

八錢納付了、因代

章

表介一更次解出之泡を贈り、種村宗八出版

部の感念しつゝ、其山田山平一とを贈り、

似後梅井花平一とを贈る、其後梅井花平一とを贈る、

朝鮮長嶺地秋と来た也

三日

雨、山田清心未森陽美梅車法、山田清心未森陽美梅車法、

一應し短冊数枚揮毫、松平原画、至天行引送
其の内、郵政省、福正好三、同去、彼も、紀念
後、其の書を送り来た也、梅井花平一、電位を
其、古池書、三、有る、湯、一、題跋の巻、押書
午後、雨、宮、菊、花、録、を、著、の、文、刻、に、刻、る、所
後、長、川、池、の、後、日、本、外、史、の、論、を、後、も、後、後
新、河、栗、林、羊、一、と、電、位、を、余、の、在、在、と、思
ふ、と、有、る、早、大、と、維、持、其、所、所、議、の、と、類、別、也

四

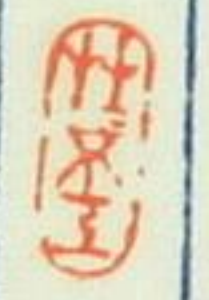
小雨、初、身、新、報、を、著、す、新、河、栗、林、三、と、電

を為す、桂湖村事迄、午後雨霽、麻布の大隈邸に到
リ、二時を以て文の場等の評議あり、懇話会を以て
余往ぬの敷金を為す、臨海子爵の日記を以て
見ても、該説あり、四時半に合を閉つ、其後三
十数名、内久寛、廣井一尋を以て來出、其後
、午マキを以て、柿の木信延を以て

五日

所、午後、橋尾中、吟詠多し、竹考を以て、松平
原、謝也を以て、七林、長崎を以て、つまら
し、ホント、紀念印刷、柏養、金を以て、其
亮、衣、森、脚、美術、山、田、正、平、一、属、を以て

奏刀、今、お、お、お、謝儀十二山を以て、依、木、位



臨、五、七、を以て、其、

午後本、心、を以て、神、田、

り一二の考、其、を以て、其、
母、と、其、出、京、を以て、其、
其、物、を以て、其、

六日

所、朝、耳、難、知、を以て、其、中、心、を以て、其、外、出

中島信義君の来訪、改本三印の来訪、松尾
母子来訪、旋録を著す、夜三入、本場三吉
日本回、公館帰、尋々、公館刊

七日

時、朝来旋録を著す、十時の海印刷會社の重役
會に歸り、六月拂込、書を決す、午後出版部の重
役會に臨み、六月配布率、三割決定、外二三の
を協定す、日本國の出版場會に開す、丹兵衛宗玄
ととも、東京、庭村ニ、配布法を行ふ、米田排印
院會に宣施の事、多難外出、又刻芝を短し
て、教養神楽、改二級、長井、改地、來訪

八日

時、内島、空流、内山者、道、入、梁
林羊、早稲、カマ、の、務、向、投、入、の、自、保
証、を、為、す、大、の、改、り、し、雨、降、り、初、五、日、少、半、の、雪
山、陽、野、の、稻、を、修、む、午、後、大、隈、別、邸、に、在、り、著
美、書、院、の、板、河、を、招、き、中、台、坂、本、(嘉、流、馬)と、也
ニ、充、實、所、為、の、考、簡、を、著、し、撮、影、の、年、表、を
定、む、二、時、早、大、の、催、持、員、會、に、臨、み、十二、時、後
決、り、其、他、を、議、す、服、部、耕、石、ニ、也、改、り、也
す、今、朝、水、星、地球、を、通、り、而、天、の、以、見、文、文、家
出、也、す

九日

雨膏風強、取上松花より注射を施す、種村
宗八来訪、選考の調票の日に過りたるに
就候候、松井石塚、石運、増田、関、久、電報
を發し、其の結果を問ふ、坪内道造、是迄、持
多し、十程の事、この國を皆、房より来り、出候
も、此利者一記本、午後、八時、至り、松
折んとす、松重、おと、云、此を考す、両言、旅、出、候、滋
歩、田、厚、居、候、す、去、五、時、の、事、其、出、

十日

晴、石塚より、其、電、報、を、受、け、し、事、の、由、代、表、

其、迄、迄、迄、迄、碑、の、為、の、故、也、故、く、其、故、所
の、名、刺、十、数、枚、交、付、古、池、素、三、本、の、午、後
投票所に入り、三木武吉の代、投票し、
松井、土、田、潤、美、原、在、太、の、事、其、長、官、の、
二千円、手、形、の、事、其、事、の、事、其、事、其、事、
開、刻、し、了、野、田、文、の、事、其、事、其、事、其、事、
其、事、其、事、

十一日

日曜

晴、長井、松、花、坂、に、就、き、来、候、内、務、の、金、子、等、
即、此、念、録、を、贈、り、来、り、内、山、者、三、三、余、の、決、議、を、
其、事、其、事、其、事、其、事、其、事、其、事、其、事、其、事、

の報を得、以後中々欽法もし法事の件物到る、東
市各に用業漸やく有り、勝利を得る一派の歡
聲、沸く、盛岡の大戦七廿年（世利）の差を以て、復讐
派高橋是清の法利：情を先を其、反高
院、老し病婦を訪ひ、午後相成と有り
物を短ふと物了、疾風を捲く、數の便秘の
方、め下劑を服す、以後松原石里大二、中
選、大波、岩野、新、入、岩、選、取、波、山、田、又、司
南、選、山、崎、勉、法、來、訪、

十二日

時、足上晴村、印刷料十五日、身、松平原四

撰文、謝儀三十日、力持老る、三新舎の山崎勉、法、
刷、件、三、の、き、手、訪、中、田、福、吾、編、委、今、の、要、訪
ニ、付、來、訪、山、陽、録、を、補、心、す、午、後、一、時、大、隈、別、邸、
到、リ、ア、ル、バ、ム、に、入、る、き、方、南、の、取、調、を、為、す、ア、ル、バ、ム
ニ、收、入、へ、き、し、の、百、十、通、檢、出、此、尺、約、四、百、六、十
尺、夕、刻、迄、完、了、後、後、法、師、教、も、三、通、の、電
報、到、り、石、塚、三、郎、関、文、經、一、の、南、選、を、報
す、憲、政、堂、の、力、一、覽、を、こ、と、確、死、す、

十三日

時、雜録を著す、高須栞、後、大隈、侯、記、を、來、訪、
十、時、出、發、郡、地、域、内、の、日、清、印、刷、會、社、の、分、工、坊、達、衆、

十七日

晴、今朝九時塩泥陸士の洋行を見送る。大石理の
未訪、鈴木卯三印もし、其也、山陽録の稿
を終了、北原房が古本泰次へ寄附、左殿部も新
刊杉森春次印の侖記等を配本し来た、鈴木
卯三印と返り問を賜ふ、午後、才七捕相帳、漢
文映け、亦雨降り出、宿宿、松本喜一に
事也。

十八日

日

晴、雨後園中の新緑三々あり、水蓮未華と
いふんと七葉の池面を掩ひ群蛙聲あり初夏
の景揃すべし、十一時中堂と大隈別荘とゆかり
書物追補の取柄を为す、午後大隈台館、文
の協会の茶会をいらく、梨木祐臣、露田の
最近の作を説き、田中政博、士オートンの法の歴史
と述べ五時、閉会、川上源一印も来た、夕の洋
梨の印外二人来た、夜九時を過ぎ、極、の、
車泊、其時と縁談に關し、任色を報告して去
る。

十九日

晴、鈴木卯三印増田義一も来た、雜録を
著し、時を移す、海向負、其法古地を

森上屋造印、流梁修井、朱文一紙購入。
家藏の森田書江米、山形一幅古池、交付
す。山田修桂書に筒し印交を弄す。市大史料
陳列の森田由秋刻之井三〇、和田萬吉とし、
其書力、筆硯、供して、扈を拂ふ。風六月、
この必り、眼鏡亦彼換、不便甚し。

今日

雨、改上弘、舟り、江射を施す。大石理、山陽の
造文の名を指卷、家藏印、書を江米、午後、城内
道邊を流る。寺口流す、八哇物、志の古面十教
を示す。山田流、此の為、此念出、故の事を協
識し、五時、舟も、午後、この色、宿、雨、風甚し。

今日

和風、新保を著す。教の便、総、困、一、女、学、家、今
相三四、前、大改、外、ル、マ、ヤ、多、復、朱、意、浪、兼、鑑
六冊、配、本、控、村、家、ハ、山、田、流、此、森、隔、美、格、本
流、十一、時、地、宿、あ、う、七、井、貫、一、ら、し、五、出、又、事、格
義、彦、の、出、利、加、賀、子、三、本、流、丹、美、宗、吉、之、爲、
應、し、杜、毫、條、幅、四、枚、郵、送、落、回、頁、数、に、押、毛、二、枚、を
す、和、田、萬、吉、と、し、其、書、又、須、美、雪、を、も、借、受、の、春
多、頁、割、録、送、却、及、應、存、流、一、四、月、入、院、の、久
漸、や、と、院、山、田、流、程、香、と、し、子、也、

会二日

午後、田村在り、身泊る、石垣文振集、中、五、六、
二輯、贈、木林、贈、身、文、の、編、合、刊、本、二、回、分
二冊、配、本、と、音、金、三、百、圓、身、日、送、届、の、由、り、と
今、と、し、借、入、抱、負、債、業、直、つ、時、と、結、婚、切、題
二、つ、き、長、時、万、後、し、と、ある、大、元、理、因、身、と、一、旦
桂、湖、村、く、近、し、等、山、陽、詩、評、の、稿、を、行、正、を
既、持、参、内、子、先、を、付、少、三、山、二、依、義、流、を
治、の、抱、負、債、縁、族、の、件、音、長、簡、を、新、居、の、直、時
親、族、高、永、忠、司、に、寄、す、午後、散、策、神、田、の、書、局、に
一、二、の、回、寄、を、精、の、松、又、堂、に、十、田、山、本、堂、居、に
二十、一、回、寄、す、と、す、持、

会三日

午前、早朝、及、上、山、花、と、土、手、三、番、町、に、訪、り、を、其、新、居
と、親、の、去、つ、て、淺、田、徳、則、と、下、六、番、町、に、訪、り、を、山
陽、の、也、を、親、其、寄、し、と、ある、十、時、帯、大、史、料、編
纂、掛、の、根、約、に、及、し、史、料、展、覧、会、を、観、る、今、午、
二、石、濱、敏、一、二、人、と、同、遊、後、お、新、居、く、七、時、生、の
舟、量、身、に、午、茶、を、興、り、し、て、あ、る、城、及、身、の、代
置、衣、の、考、到、る、由、書、後、雜、報、を、兼、り、七、時、を
移、す、既、神、書、局、に、お、と、婚、因、田、在、居、に、酒、会
す

廿四日

晴。山陽録の原稿を心す。十時大隈別邸に到りて
ル公に入るべき吉岡荒平捨出午後三時迄かき
大体をきりし海老。言ふも今うのまを詰るの
却る也。新居の松井郡流出東市選撰持持の
以て来る。大石理内三箇と事と托す。又初神田
散策一二書館を訪ふ。園古を贈り。山とく二十
日松雲巻に十田拂ふ。夜来大雨あり。寝後谷三
山の道行と懐紙

夏時

念五

日曜

雨。早朝より山陽録を心す。又旅記を筆
す。下村正方より京都へ。山京再訪の巻を贈

る。増子表一印大石理内再訪。午時より教
習生に眼鏡店に眼鏡の修理を頼
み。林孝子より南一紙と贈る。又大石家
三郎より書山。蕪蕪三鉢購入。午後十二時以
地震あり。石井百物より書に於て。園古校場を話。激震
あり。印吉到る。晩石雷鳴り。驟雨到る。新居高水
忠司より書電。増子校用より再書

念六

雨。叔雅波把一印校用より再書。十一時印刷舎に
の巻査屋と臨む。午後二時山書雜紙を筆す。又
利由より書に於ける。園古校場舎の話。激震あり。

信正、中書後印略、通稱、分、之、半、金、由、以、以、
上、心、花、し、来、診、を、治、せ、て、半、高、を、加、ふ、之、を、略、也、
二、方、目、也、

二十七日

時、初、身、旅、録、を、書、し、て、高、須、梅、屋、早、稲、田、を、
主任、内、田、安、隆、六、戸、義、親、(其、堂、洲、と、号、す) 中、
御、身、平、治、昂、の、友、人、と、人、為、兼、見、處、と、す、其、の、
上、心、花、を、平、治、高、須、梅、屋、司、と、す、其、間、梅、屋、の、
リ、寄、と、い、ふ、之、画、家、清、親、の、流、を、撰、り、又、刻、板、上、来、
リ、病、況、に、泣、賦、を、詠、す、

二十八日


時、朝、日、難、辨、を、著、す、坂、上、身、診、並、木、元、五、
流、又、次、者、三、峰、を、来、る、米、田、大、使、ウツツ、氏、と、お、の、
あ、お、ゆ、状、到、り、平、後、克、を、呼、ぶ、を、神、田、を、行、は、れ、生、
二、列、り、物、を、贈、ら、し、葉、と、飲、し、て、お、つ、り、夜、河、在、塚、
こ、即、坂、上、心、花、の、何、れ、身、診、在、塚、と、選、る、を、
す、と、井、母、一、と、す、来、出、

二十九日

時、山、田、内、心、月、日、の、後、和、志、を、書、二、冊、配、本、江、
川、早、稲、田、美、術、文、字、の、件、に、お、つ、り、又、願、問、
す、こ、と、を、流、す、高、須、梅、屋、を、祝、き、徳、川、の、
如、親、の、社、を、二、及、け、り、其、間、二、時、有、

又てこの諸説を考ふるに、これを筆記せしめを掃む
後札多分の紀念出附者に入らんとするもの多
村山亀一郎と云ふ其出和久直平の振出年形
千五百圓に裏者一と云ふもの此年未千四拂込残
額五圓未拂し、和久直平其際ニ為しある等
終に訴訟の法と云ふ、六月廿四日裁判所所
に候と云ふ、以上山花見の以是再診、
容態よし、丹其室五と云ふ、古池に不用印
五顆(此頃十五圓)外に三十圓古印代拂、
用ニ乘、
七圓半の巻の記説と候、
候、

三十日

候、森陽村可証、
松井石塚山田助也、中村貞吉、
来訪、石塚、故五峯居士の遺印を撰録し、
金印  を賜ふ、
功物を賜ふ、
録と筆、
大町世文、
贈、
川底、
乙、

三十一日

時、雜報を著し、直心極、而家の縁疾成
主を報し来り、余の著述に對し、半納印稅
る二回出納部を、領事、森岡美樹氏、
ル、ゴエ、四海委員、今、身、改上、花の、
財を、山場、福心、今、生、
寺大親、五輪、を、本、琳、を、
て東、寶、并、印、代、五、由、拂、丹、六、
以、出、を、報、又、七、
是、久、外、の、信、五、時、帝、四、
亦、選、校、反、出、身、代、士、五、
報、
地、震、二、回

六月

一日

日曜

時、十二時、
中、子、校、反、
松、の、縁、を、
十、紙、
と、
日、栗、田、
地、震、二、回

二日

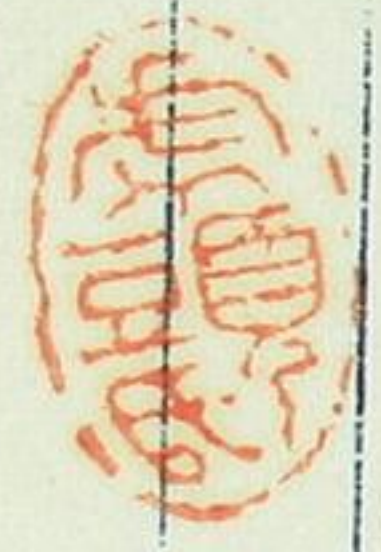
朝、斗、大、
九、時、
栗、田

羊(毛)母(固)子(を)贈(り)る。十時(頃)馬(印)別(台)北(に)到(り)臨(海)時(の)事(と)高(き)午後二時(頃)久(江)海(邊)に(お)か(り)同(付)年(所)の(木)七(と)記(を)江(葉)の(事)物(不)を(観)四(時)後(に)先(生)回(り)城(内)和(木)内(四)三(村)山(田)と(比)て(安)田(善)次(の)方(と)合(し)余(も)も(化)念(出)敗(の)事(を)提(議)す(安)田(林)も(も)若(干)の(珠)布(を)示(さ)る(今)の(外)出(せ)丹(其)原(平)の(来)物(物)を(贈)る(山)田(河)氏(に)圓(出)代(三)倍(十)五(圓)交(付)

三日

晴(首)為(陸)三(の)計(に)海(東)早(梅)田(大)之(も)も(九)

日(維)持(負)合(の)通(蝶)糸(に)湖(島)利(利)每(極)本(尾)二(八)身(あり)後(後)海(空)球(も)茶(森)を(贈)る(来)る(取)上(来)未(終)依(寓)の(拙)五(毛)数(枚)贈(り)冊(吳)康(平)身(詠)山(田)河(氏)中(由)論(各)身(の)冊(去)と(午)お(い)を(贈)る(拙)毛(換)書(五)卷(年)者(極)才(を)贈(り)午後(自)動(車)を(贈)り(冊)五(と)付(せ)る(負)合(の)存(在)に(合)符(の)一(を)送(り)年(の)不(存)此(後)此(存)を(送)る(初)め(也)二(時)餘(詠)し(終)に(拙)の(三)河(氏)(四)あ(三)晚(集)を(送)る(今)津(も)一(顆)贈(り)る



よりと推すよりの早速怒雨と略々一致す但
し三就多者あつてもこんと鎮撫も出来可
ち山彦か自ら之の操するに任せたり
常り校友の有力者五七を念するも必要なり
馬田をして主宰せしむるに對して抗の
場いなり面らめんと余阻止す然らば余高
田に代りて主宰せしむるに就てあんど五十出
る出さうと余詰す然らば校友の有力者五七を
さ方徳と決す此令も何人がか爲の指し
思ふも知んせんぞ申す可く申せん
也か爲其他急務あり方面へいん
交渉もあつた珠城の武烈は長原に
たかやう、真崎桂次郎、岡本、成家丹兵衛の爲
め、二点を押し付け七紙成り、あつた来梅
の改に促し、運氣あつたを記す

七日

望天押書毛印後、方角を添く丹兵衛原香に、向す
程村紀好の出物部、沿革の稿を清く、訂正
を要する所、後を期す、中田海吾、出書を
興ふ、十時印刷分社の重役令に、臨み、本格的配
を決す、一部、其分の外に増配二分、林三の総
を添く、後、更増俸、その他を決す、平
幾、出版部、重役令、望天、株主、総会を

本期能市三割外ニ受其金共三千七百九十
二内銀亭、出版部支給金七千五百円迄
是内五百円出版部代理部合資会社ニ對
する余の出資金也。若早大寄附金等、及
刻二万五千円也。納付了。前田博士兄の爲め
未診、府税市役出四十五円二十五圓内子に
交付。刻散策二三の吉房と記の村に之を
代り、用拂入。山本書店に二十三円拂入
堂に納し、あつた。夜に入り、石塚三平、由田に
付身、ゆゑを告ぐ。

八日 日

雨、雨降、其、三、母、死、云、云、吊、状、を、受、け、後、其、田、
中、寄、就、島、津、サ、芳、良、と、云、の、向、を、授、け、る、度、井、上、身、
流、十一時迄を伴ふ。外出、神、田、の、出、付、を、訪、ふ、
七、二、三、の、回、を、購、ひ、銀、に、外、葉、に、情、し、心、
神、田、に、由、り、東、洋、キ、子、の、映、畫、を、見、送、答、
情、電、渡、す。徳、方、も、り、色、を、來、出、回、以、由、年、訪、訪、之、
す。時、を、來、り、早、幸、整、正、番、入、関、の、代、り、金、に、
加、算、流、費、を、納、り、云、々、の、情、を、云、ふ。金、前、
口、と、同、一、理、由、を、行、く、も、不、可、き、と、耳、し、増、
田、義、一、を、七、行、か、し、あ、る、こ、と、い、さ、る。傷、と、増、
田、近、敷、に、出、張、し、深、更、に、お、ま、り、ま、い、心、地、を、も、
き、こ、り、し、三、人、お、お、り、て、那、出、版、の、松、と、授、

三刻の酒飲を興り、十一時三人自働車
を返り増田を以て託す不あり増田談
す午前三時帰宅

九日

明朝本館録を著し、高須に曉し、余の七説と
漢世傳の事相利真、玉原唯可、春陽也
と改書、礼讃出版に付、と協議す、玉と
有田焼、小瓶二個貯る、大原の原、六心、五助、平
福、物、有、其、物、を、貯、る、二、時、大、原、の、紙、物、也
今、臨、山、八、木、漢、一、寸、一、寸、物、朝、の、換、抄、物、也
寺、尾、元、彦、と、近、著、と、定、り、と、す、本、心、掛、録

関とゆゑの三四の圖とを辨ひ、五十四冊入、
津八一と山陽考、簡一、簡一、若者を以て来、
五、五、内、子、を、内、昂、に、を、す、加、子、高、命
(宮宮合流、内、内、内、場、の、大、命、を、釋、す)

十日

西、梅、而、幼、入、森、脚、大、浪、若、傳、記、附、書、
ア、ル、ハ、公、の、五、河、字、を、全、部、持、卷、一、二、年、其
あり、旋、録、を、著、す、本、心、府、内、湖、美、選、家
あり、披、索、を、披、索、し、散、策、本、心、の、琳、瑛、也
二、回、也、を、辨、ひ、五、十、田、也、更、三、涉、中、淺、合、
三、回、也、を、辨、ひ、五、十、田、也、

十一日

本郷湯に坂上より江村を施す聊之内閣成る
山崎氏に來りて、午後八時、吉村を尋ね、午時内
宗久寛と工業部、午後九時、寺田の書居
向を流る、久須美東馬七同席、帰路神田の書居
二、菱湖、平澤の草紙、彙編を焼く、午後三時、同
也、村の書居より同掛入、其時抱く、約成、橋
に家より、物を贈り來り、丹吳康平より來書内
子より同交付、雜紙を弟より七時を過ぎ、早
大と未也

十二日

時、飯森善平依り、木代、經市、田色、辰社、おら、其
也、中田、海、冬、來、次、理、經、友、梅、洋、精、一、身、以、極
口、繁、次、直、心、と、結、婚、之、件、存、換、持、之、為、耳、次
古、池、素、三、二、十、日、拂、直、心、と、二、十、日、書、回
未、テ、几、二、結、婚、持、取、の、招、状、到、り、媒、妁、の、方、木
男、壽、(喜、寛) 三、時、午、後、供、も、も、亮、を、符、の、海、崎
と、湖、の、復、興、の、状、次、を、換、す、由、命、報、せ、に、物、を、贈
り、神、一、出、渡、日、原、局、に、領、す

十三日

山崎湯、森、七、叔、者、き、添、由、森、脇、森、樹、種、行、
宗、八、身、流、飯、茶、神、海、坂、口、五、山、峯、一、遺、行、の

序多の事を致す事、余の版の代心を托
す、午の事を致す事、余の版の代心を托
版印交地内、口(古)印刷の合工場上棟式を行
ひ、木村田代も、祝の料理を致す事、余の版の代心を托
旋録を著す、平泥淑郎も、午の版の代心を托

十四日

時、余の版の代心を托す、余の版の代心を托
散葉二三、山居を致す事、余の版の代心を托
て、く、二三の舞を致す事、余の版の代心を托
彌も、其状、原里一、勿、贈り、来り、其、海生、余
信、余の版の代心を托す、余の版の代心を托

十五日

日曜

晴、雑録を著す、互修福寺内、余の版の代心を托
簡も、六、七、昆田文二、印、早、速、整、二、四、任
官の件、二、付、五、又、元、行、杖、散、其、上、を、元、揚、し
七、去、二、十一、時、(光)を、ば、外、出、神、田、(田)を、推、し
銀、廿、の、外、(光)を、ば、外、出、神、田、(田)を、推、し
人、(早)速、整、二、四、任、官、の、件、二、付、五、又、元、行、杖、散、其、上、を、元、揚、し
の、形、(早)速、整、二、四、任、官、の、件、二、付、五、又、元、行、杖、散、其、上、を、元、揚、し

十六日

晴、石塚、二、印、早、速、整、二、四、任、官、の、件、二、付、五、又、元、行、杖、散、其、上、を、元、揚、し

四代亮小森陽美附立、身法、旋録を
す、穴に其書海軍、午後芝田村の極、
婦人科病院、極、祭次を記、
け、礼を返す、祝、
都、
湖村の、
後、
回、
相、
出、

十七日

時、朝、
より、
七、
判、
新、
持、
午、
七、
夜、

十八日

雨、朝、
中、
編、
用、
帯、
以、
来、

訪十一時日西印刷會社に到り社費、半奉費
與金を授く、終つて各課長を令りて末期の事を協
議す、三時出版部、到り、職員、各課長と其の
程打交ふ、出版部、治世、徳、訂正を以て、夜
日、印刷の遅れ、并に常務支那人と梅月、
會飲す、隨素、若平、其志、以上、外、謝
禮を贈る

十九日

時、本林陽美、相馬、訪、平、高、津、威、天、女子、夫、子、の、日
本、少年、寮、の、件、を、其、法、三、時、會、談、を、交、り、海
之、泡、を、贈、る、同、者、漸、や、地、を、や、一、雲、所、を、さ、こ、用
表、一、架、を、此、り、千、冊、許、を、仙、山、大、隈、交、傳、附、録

書、の、同、集、の、六、百、頁、全、部、出、来、有、其、の、排、列、順
序、を、定、む、る、二、三、時、間、を、費、し、略、之、成、る、村
井、銀行、の、入、金、二、百、圓、迄、海、夕、刊、市、中、以、志、司
其、の、以、家、族、婚、の、挨拶、に、未、の、日、以、由、文、二、印、
亦、才、馬、法、古、河、市、兵、衛、部、の、情、を、編、寫、家、す、る、に
方針、等、の、お、疾、を、さ、け、荒、干、の、お、疾、を、預
つ、ぬ、り、お、石、川、修、也、の、現、前、修、業、圖、に、早、速、に
次、進、を、振、替、す、る、の、も、如、考、利、其、其、の、以、久、に
幸、命、言、ふ、も、年、酒

二十日

時、本、森、脚、本、の、ア、ル、バ、ム、の、書、を、交、付、す、坂、上、弘、為

例の注射をなさず、昆河をこぼる古河市兵衛の
事務代行をも譲り大石親四郎年功廿四分
古河銀行専らと承信、^新南河内原久克の
乙状列す、午後一時其時を帝園ホ元二以心、二時日比
谷の太神宮に結構の式を承く、^新部樋口永雄新
婦、其時氏、余親族を代表して式に列す、五時帝
園ホ元二に於て古家の披露あり、臨席九
時功中、山形の清を徳あり、こぼる梅瓶一函贈
る

二十一日

古河市兵衛の好本を譲り、又経路

を筆す、十一時其時共二女姉と樋口家：招えられ
美徳のあり赴く、四時功中、其時共二女姉
宅をこぼる帝園ホ元二、其時共二女姉
を遊遊、原兵也、清を贈り、六時
古河侯も、院前借は、校友同人と早速懇
別を招き、其時共二女姉、小久江其時

二十二日

日曜

時、院前を借り、^夏古舟共、其時共二女姉を遊来
し、和気せき出、帝園ホ元二、午後先を授
へて神田、也、^敷乗一二の園を、情心、在洋
キ子々の映、意を、田原尾：飯して、る

夜来る、石塚三平、雪話来る、海老徳太
郎丹兵衛原平、方状をみる

二十三日

雨相来、雑録を筆す、山田清北来、八時迄微
震あり、西の頁敷、馬場権を嘱す、日比谷
古河信、續物到来、午後二時保陰協会ビルに
クを令海より七日、印刷会社の半期総会
を開き、一刻七分配、高段、英博、伴、葉、等と決
す、令終り例、依り重役一同、高倉を閉く、令海
下谷池三端、羊、今、初、余の交はら、賞、其、金
三千三百九十五圓也、中川、鏡三郎、と、牛也、又、関、太
郎の方状、河、古池、山、陽、の、長、筒、一、巻、高、一、来、る

皇宮方、不在中、石塚三平、方状、高倉
和太郎、中、漢、動、義、も、来、出、日、海、印、刷、会、此
の、余、の、俸、給、年、額、昔、同、増、加、本、月、より、定、行

二十四日

此、相、来、雑、録、を、筆、す、高、倉、和、太、郎、より、
岳父、母、田、黙、人、の、詩、集、(清、秋、詩、集)、二、卷、を、寄
て、来、る、金、七、千、圓、銀、行、預、け、入、り、山、陽、録、
稿、九、枚、葉、尾、成、る、正、平、上、る、月、手、形、問、題、三、問
一、余、裏、也、人、と、し、七、本、の、法、庭、へ、石、塚、を、寄、け、比
の、京、正、平、も、も、少、先、日、心、を、要、求、す、却、存、
へ、出、る、也、す、高、倉、と、謝、心、を、表、す、本、海、助、大、塚
家の、御、衣、箱、を、撮、影、し、し、る、し、の、を、寄、り、し

園者殿協亨ニ乗杉をたじり會あり遠者
の為形し一行かす十二時半地をり積
池し新柄と筆し時を移す午後去原義
規(新柄の積)其物と貯る去時百
七去日今夜文の協亨泰治今と大段分終
ひらき再利加問題に聞し三氏の海流
余例のことく出席主事(き)の所達花の
為の杉山重義に代現を移り行かず祝金柳
庚子竹の出現としと後不とも通曉来る

二十七日

晴冷氣甚し十時浅草の浅倉屋を泊り二

三の園をを購ふ三日月拂 由途神田の松文を
二園者と繕ひ三日月拂 十一時物書 外出中
昆の文二中心 八頃美東馬車路大隈彦
酒を貯り来る 量石火災後 協亨社 保陰社
三十二日拂 山崎六治大 里いし 後夜の時
嘉布文庫 祝儀の案ありを 寄る 卯の午
後坊お八玉川也 真崎桂治の 寄る 卯の午
且の花瓶を貯る 祝五十五日 卯の酉
しを受く 初島七さき 由玉 出段部 卯の酉
北子物方 卯の酉 寄る 卯の酉 卯の酉
義彦 卯の酉 卯の酉 卯の酉 卯の酉
七去日 近衛霞山公 卯の酉 卯の酉 卯の酉
六日

二十八日

病心未又七二者牧とあるす、服部耕石、山田
高田天人とも念款の七印三顆成る、更に上
岸の印二顆を托す、山田文二印、古河海記
の印、有子、花、和、良、庄、子、千、形、一、併、九月十一
日、日、録、并、論、の、二、通、蝶、刺、る、雜、録、を、著、す、其
の、山、く、花、形、を、貯、る、ん、を、礼、状、と、申、す、木、崎
愛、玄、と、云、と、見、し、事、を、托、す、耕、石、細、い
雪、を、貯、る、午、後、光、を、は、り、を、教、策、神、田、二、回
云、を、貯、る、か、へ、り、

二十九日

日曜

時、田、中、穂、積、才、也、来、九、月、作、持、又、法、政、進、二
竹、海、深、を、合、考、に、推、す、伴、浦、三、枝、の、補、欠
に、伴、大、隈、現、合、考、を、再、造、し、し、め、す、方、略、お、こ
つ、き、余、の、三、考、を、徹、す、余、ハ、滋、深、の、愛、理、委
員、長、と、し、非、お、ろ、合、考、を、し、し、め、す、三、考、指、を
云、ふ、一、方、略、を、説、く、愛、理、委、員、長、を、推、挙、し、
し、滋、深、と、協、議、し、し、め、す、四、五、の、考、を、考、へ、し、その
合、考、に、本、林、村、を、推、す、滋、深、日、の、寧、ろ、ろ、ア、ク、テ
し、ウ、の、方、面、の、合、考、に、入、り、し、め、す、徹、す、説、を、
以、つ、て、説、か、せ、ん、が、同意、を、得、す、し、し、め、す、大、隈
入、再、任、せ、し、め、す、し、め、す、説、く、し、め、す、山、田、英、吉、
を、以、つ、て、し、め、す、し、め、す、し、め、す、し、め、す、し、め、す、
を、以、つ、て、し、め、す、し、め、す、し、め、す、し、め、す、し、め、す、

二、古河の男成の中流男、股部小池津戸を増やす
また、流保存命令中、有力者等警備隊入り入る
く必要ありとす、此等男等現案あり命令中、途切れお
め、委員中、子扱に陳述する、あり、刷新切め
八年二回開くべし、安の養をとり、器の表治ら
入る、七、一、あり、買取委員、取らざる、その扱の
後扱者より、粗略とす、かく、此、田中皆同、其も
表しとす、案者名候あり、午後、光を、付、出、出、
東洋キ子、の、映、意、を、見、る、今、博、一、と、相、他、米、大
形、墨、を、取、り、徳、川、軟、倫、房、の、方、利、と、未、時、受、取、
田、代、亮、女、等、と、来、也、

三十一日

所、長、五、銀行、二千、四、千、形、切、者、了、印刷、令、社、新
株、移、込、一、株、十、四、千、八、百、円、換、込、異、境、上、山、花
身、り、道、村、を、施、す、十一、時、出、改、部、に、列、り、株、内、道
逸、前、田、暢、と、家、田、貞、敬、等、と、出、版、上、の、協、議、を、為、す、
来、勝、十、九、流、沼、彦、官、司、利、治、知、一、と、す、其、間
井、根、岡、と、伊、崎、を、同、者、と、辨、以、九、十、山、花
満、石、塚、三、ら、一、月、の、後、石、田、原、尾、く、伴、お、て、院、
と、異、つ、り、と、お、り、ハ、林、又、七、と、し、其、也、

〇七月

一日

晴、往村宗八出版部の事務を承け、古河録業
合社の発行の表しに古河常興衛隊を承け、
多の増強を志す。小林又七才功印刷所北の
内子とつき内蔵を干後又の増強を志す。刊
り職員の増強を志す。又編輯部を志す。
又出版部と別の特社と施設の日誌を刊行。
す。又刊行電報田萬吉を志す。五、鉢の
木に扱ひ、早速転送あり。亦謝玉刊行。

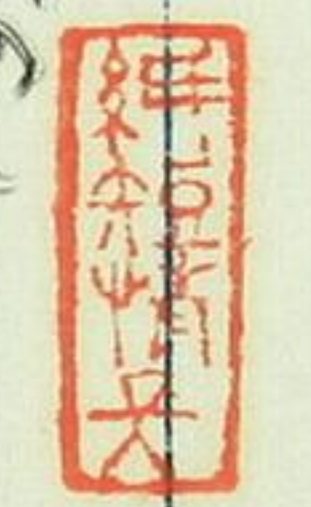
二日

晴、報録を承け、帝國通信社事務分使
員報酬として山録収、乗杉嘉壽松江
高、方谷茂長社任、米状、高橋茂彦の
出状を承け、印刷部耕種を志す。田舎者印
利料十五圓、船を今河、一二出状を刊
す。印材代五圓、田舎の高田、今
三、信、中田、物、身、取、功、物、を、取、り、江、木、取、業、
死、去、り、先、別、式、に、代、入、を、出、す、日、本、の、年、表、に、
丑、奥、官、加、壽、才、功、功、不、孫、景、純、倫、を、取、り、混
田、又、二、中、古、河、信、を、承、け、訪、干、後、茂、を、伴、り、
三、村、に、出、立、り、田、舎、者、を、取、り、五、十、圓、拂、入、
報、録、に、四、分、之、一、の、為、り、特、給、を、取、り、三、

十日代筆の年所とて及入致る内明の
差入の約也御本本元也

三日

初来冷氣云し、雜録を筆す、校友約津録
三来訪昆阿く紀介す、村井親の二万目
借入、服部耕衣自訪馬の印二顆



珠本六種正平珠の本を托す、茂徳主に地
り又著、肺病に互面してと贈る、矢吹いさ
病後初めに来る、快氣の祝と種々の物を

贈る、高田の印、大活に交雜、午後出浴録を
御本本元、刻り免の為め指輪と挿入帝也
も来書、今夜校友会あり、風野の為、夕廣
松方公茂

四日

雨、二時四十分地震あり、耕衣、篆刻十九日
持書、素臨来り、阿古を贈る、山田清徳来
り、出版部も山刊考一配本、十時過、又出
田の書店と訪る、一二の書を借生、田
川、山田、山寺に托す、借入六個
出来

五日

晴、大隈侯侍臣の件より高須梅澤春陽等共
身詣一二決定す下り、山田公文才助等
望夫の助も福池接知の記念報還魂歌
料一部贈り来り、石心も一版上弘花宅の三
階に送料の黒補綴付成り十時迄あて遣
の法原と多く、上左白蓮二枚元、膳三ツ
袂去、一時内主、静養、午後堀浦屋の分領
・奥宮の少年・寮・張法・百集・存あり、断り
行か、宮崎新三郎、身詣、難保を奉りし
時を移す、突如吉の如く去り、同を定の中入札
馬由也未功、高橋義彦も身詣、且つ五十金を田

地所得七十二圓、為防金銀も夕刻と和由萬
吉に振らん本郷の力に一鉢の米にあく、田代光
八郎等も身詣、助も身詣

六日

日曜

晴、山田公平に刻料七圓を、寛山寺二圓
二の性十四圓を、高橋義彦に五圓を、
阪上医流に初り石心三圓、引つ、さ遣り
法原と多く、金多田石心と交付十
一時目白近衛公邸内、百重山公記念碑
の陰幕、式多、臨む、公の志記一部贈り、
山田公平も雪人の冠冊を贈り、早稲田工

授者而正利本坊、夕刻谷村一大中休屋印一
身物、同伴柳橋の箱塚、飲み付研の
以

十日

明朝来大隈屋の爲の箱塚を讀む、佛國の
航海中を遊び、昌史の消息、十一時日
清印創台此、もろ、小林又七、糸、常務社
内の人をも協議三時、柏尾、東田、通俊を
部廿五冊、贈入、大隈屋箱本を讀み、知入
合

十一日

明、炎甚し、朝来大隈屋の箱本を讀む、
山田清心古池素三、早、十時、文の海、
箱本、三刻、日米問題研究、今、もろ、并、十
月、開会、是、文化、表、彰、合、もろ、
森、陽、宮、江、川、寺、と、長、時、間、協、議、略、々
本、成、り、四、時、停、宅、真、山、寺、に、托、し、
の、快、十、四、出、来、ぬ、爲、の、吉、し、
旅、館、を、兼、つ、く、吹、者、三、と、し、支、那、墨、一、
箱、ヲ、来、り、

十二日

晴 植杉出さし事也、奥田書物多し、杉井別法
夫妻十身物、阪上迄流し、利り石塚の法慶を多く
祈り、田うら一二山底を幼む、凡月と飯し、悔く
る、大隈侯の移しを讀み、本より松方公の四
華を行ふ、休あ功一身治佛、四念心、黄銅、白漆
肉、越我の圖あるメタル十枚を贈り、ほ内也
是の書も紙二枚贈る。

十三日

晴 朝来大隈侯傳記の巻を讀み、日比田文二
即来法、十時石塚の法慶を念ふ、けと上
右の迷、前年ツキの迷を抜き去る、植り

法、菜木林歸美、物多し、新の粟井、と来
秀、午後又傳記を讀み、三ろ頁讀み、下
元、各紙、其のうらと

十四日

晴 朝来大隈侯傳記を讀み、阪上迄流
す、多し、法物を施す、法部式流、中田亮、
中田、向吾交と来功、法、山、次、物を、植り、田、
屋、に、飯、す、古、池、寸、帳、書、盡、を、持、ち、来、り、雪、不、
慮、と、名、辨、入、り、大、隈、侯、傳、記、を、讀、み、つ、く、夕、
刻、と、附、近、橋、本、饗、店、に、和、田、若、志、を、根、く、回、
寄、銀、田、人、と、此、に、あ、り、酬、飲、家、こ、う、の、今、日、高、須

新澤を招き、夫の伝記（つぎ）余が妻兄を陳
（取捨を指揮す、若く別荘に入代板木
厨三十五圓拂込

十五日

時、本林脇へ移る。自來の施設をせしむ。金庫
ハ（と）し、年出、預け金三萬圓貯り、（と）し、
出す、より別荘あり、志むくくし、（と）し、
津（と）返むを授け、午後快雨来る、境内を巡
視の十切四五枚揮、（と）し、

十六日

雨後晴、朝未大隈辰伝記を讀む、種村

宗八身証、土手ニ書所、別荘石塚の流産を
受く内子同断、大隈純子（と）有田茶屋（と）
佃（と）婦（と）、日清生命保費（と）若原土地保
への密借入四千圓、利子二萬圓納附、
以後土田遊（と）す、午後六時江波迄來訪
令社の人多問題を内議して時と移す、
今津ハ一高崎米芝生（と）す、

十七日

百真崎（と）干製塩鱒を贈り、未、日清生命
保險令社、（と）則証差入、其崎高嶋、謝志（と）
是す、山田信正、（と）日清保費、

所焚分の先見運子の如く時々驟雨あり
寒山寺の帳代で因七十八州雨、坪谷の如くも
公旋組を著す、内巻之度、簡す、三時迄を
付して出遊、袖田の園を好む、如く二三の物を
購つてかゝる。

十八日

晴、冷、朝来、旋組を著す、並木完、森存、
祐、印刷舎地の本間十三郎と相き、其の身より
去、留に、流り、内諭、又、刻、を、為、す、こ、と、も、ら、
旋組と著し、夕刻に、公、後、大、隈、今、後、
判りの文の協合の茶話合をい、松波持士

逢田徳鶴の久四初、夜、十時、半、合
を閉づ、今、夜、一、ら、来、出、印、一、顆、貯、り、未、
臨時、夜、合、終、り、

十九日



今、夜、一、ら、震、き、罹、り、る、白
玉、印、を、貯、り、未、
を、貯、り、る、果、潤、得、玲、瓏、の、質、を
失、し、り、る、也、名、に、変、化、る、也、又、亀
列、衣、を、生、せ、り、白、玉、流、石、に、石、と
同、か、ら、る、推、保、を、著、す、
本、間、の、内、諭、の、子、を、失、く、内、山、省、三、合、夜、一、
二、場、を、出、す、午、後、三、時、即、刷、舎、地、に、判、り、考、

終と會談(四時改選)の協談會に臨み一席
の訓示を為す

二十日

晴、此夜深更三回下廁、台録も又病才、急世腸
力乏んに罹りたるらし、昂克、由賀、早運子の傳
居て赴く寝、中世常(運)里、大島、持春、干後
三時、時鑛業、伊東部、あり、文の場、有の之
從、是日、米、潤、題の、研究、會を、ひらく、其、會
者、二十名、皆、此、潤、題、に、精、進、の、人、公、前、濱、澤
子、志、賀、重、日、即、濱、田、壽、一、の、談、あり、會、及、山、田、三
良、柳、崎、心、流、植、原、悦、治、中、乾、精、志、賀、

重昂、依、分、利、員、勇、浮、田、社、民、交、り、起、つ、た、後
を、陳、へ、得、つ、所、勘、か、ら、十、時、台、を、買、つ、つ
急、を、思、付、つ、た、の、用、合、を、し、て、上、出、来、さ、う、し
以上口を過ぎる人々の外、錫田、宗、吉、日、置、益
及、谷、芳、郎、佐、野、善、七、宇、部、吉、兵、衛、中、村、重
午、吉、田、清、風、山、科、禮、花、才、七、来、人、は、可、く

二十一日

晴、種村、宗、八、が、流、遊、録、を、著、し、七、時、を、後
才、古、池、素、三、に、出、意、代、三、五、日、拂、午、時、内、存
久、寛、と、鑛、業、伊、東、部、に、入、り、七、時、才、心、路、神、田
二、三、名、に、三、言、の、細、川、節、を、共、六、日、後、拂、山、本

書居東四道鑑代三十日抄寫

廿二日

昨、段上より注射を施してある石塚三郎中田
通彦より功、内山者三才より石油時報に連載
の余の随筆中の續行をあり終せしめ午時に
ある海を遊戎次郎よりある且つ大隈侯傳記
の資料を送り来た。蓮子假宮君火女の消息
列々雜報を著し志むらくは若を忘る其
時桂次中村時勢離るるも若や是れ其狀
来り、午後旅亭如の来り、今海遊海を来
書

廿三日

昨、其時今ほど者を後より蓮子侯宮より衣
類を郵送す、廣井一舟流、高橋義彦より
身者書代三才通報を著す、十一時外出本心
の林松岡を功、二三の圖を購ひ、十四日柳
入、林田三才より二三の古報訪ひ、二三得る不
あり八月、飯七物、古池葉三山陽の
二字額を抄り、示す、讀出、夕刻に到
り、十四日の下女紙後より、身者、旅亭を著
す、夜一時の拂曉まで暴瀉二回

廿四日

昨、大隈君の信に、昨日森脇中由来る。九時迄子に
児世を泊る為め、先確をばぬ家へ来る。九時
八に立寄、土産物を贈り、十時の汽車に乗
す。十一時止着、先ぬスティーションに出
ひあり、朝車四時迄へ出るといふ。直に
後宮を物へ、土産物外二つある。汽流木の
家より、児世土産物を、俄痛のこころと出
差をいへるといふ。余其状を見、俄鬼のまじ
見舞い、来る。来る。いふ。いと一突す。公は
光を携へて出づ。新不帯、未だ物油の衣
自由。習本家の身、を待つてあり

つ、と光をいふ。即ち十敷に、物を贈るを
かへる。其妻所道り、漸く、浦へ、更なる
お浴場、別り、見さ。浴室、子、まじ、
海崎の雑、こあひ、所、と見、
後六時、四十分の汽車、投、ん、
ゆ、あ、る、子、
早、あ、る、終、一、滴、の、雨、
終、一、滴、の、雨、

昨、小森望三、身、物、係、内、大、道、
馬を報す、廣井、一、二、間、
つ、ま、い、る、一、滴、を、寄、せ、
財、つ、り、大、石、理、由

来取、高島藩庫中の衣更田中某、
急を以て終に返すことありし、
不幸のききことを申せし、
友令も招待状あり、午後、
七時、山本、二十日拂、
を後み夕刻に到り

二十八日

時、難保を著し、時と終、
見中田、備、
良寛建碑、
子、

改、散策二、三の物と、
所、

二十九日

所、
改、
田村、
来訪、
を過、
新、
旅、
三井、
村、

ニ訪す、及物を贈らむ。

三十日

昨、森脇来功、久須美雪里来功、書画、法、時
を移す、今津、一、し、来、云、林和の柳、清、去、保
を、渡、あ、西村時彦(天因)の計、二、接、す、午後、山、回
清、心、来、功、吉保、保、を、後、あ、つ、け、夕、刻、に、到、り、
七、池、来、三、帆、是、来、雨、の、寸、珍、帖、を、持、り、来、り、示
す、昆、虫、形、花、卉、蔬、菜、を、描、き、ぬ、り、し、る、筆、致
豪、子、久、し、嬉、し、入、り、去、る、の、大、仁、三、中、来、功、余
の、揮、毫、を、書、す。

三十一日

昨、阪上弘房来功、法、帖、を、施、し、去、り、久須
美、雪、里、来、功、大、里、の、と、り、之、揮、毫、七、池、来、三
三、方、画、代、三、十、日、拂、午、後、信、内、大、道、の、家、を、訪、り、
其、の、死、を、弔、り、堀、内、道、を、訪、り、堀、内、文、の、
協、同、會、を、訪、り、并、出、版、部、に、主、角、の、由、毛、金、五
五、兩、出、版、部、と、し、借、入、り、由、毛、後、施、行
を、行、ひ、す、阪、上、武、次、中、記、行、程、部、に、交、付、昂
進、子、を、し、立、帰、り、り、由、毛、の、朝、乾、井、保、に、大、隈
侯、主、節、の、を、同、伴、飯、後、に、入、り、し、り、法、帖、し、施、
梵、心、を、神、の、を、夜、又、了、神、中、大、隈、公、館、に
寄、り、此、の、時、を、就、し、あ、る、圓、寺、書、畫、の、風、を、
文、三、を、托、す。

支那の設計を折角竣事し、此を愛せ終
に度々ぬの一見を延ばし、此邊域の事も
さう、但し此生愛の情を、是れ攝政の
一内召を臨を辱おさることを得、大隈家
の光榮とさす、して可なり、美を、殿下御
臨のとき、臨時の、この設計を、さし、
とを詳細に語り、さう、容易さう、
の、この、この、この、この、この、この、
地加、島中、二、三、の、この、この、
昔の別荘といふを、目、この、この、
知の、郵便、この、この、この、この、
さう、約、二十、五、六、の、この、この、

ある、この、この、この、この、この、
久、森、この、この、この、この、この、
海、この、この、この、この、この、
完、この、この、この、この、この、
ひ、この、この、この、この、この、
度、この、この、この、この、この、

二日

此、早起、この、この、この、この、
完、この、この、この、この、この、
長、この、この、この、この、この、
因、この、この、この、この、この、

二、二午、酒を興し、又席上二三揮毫。
一時、是坂、上、中、下、各一、講談を
をいし、田中、中、大、出、席、余、近、年、海
濱、を、能、く、を、例、と、し、此、も、諸、事、を、丹、志、
原、平、東、河、関、六、ら、も、出、版、部、納、付、金
を、同、額、ある、上、時、も、長、岡、後、に、於、て、夜、友、大
合、を、あ、く、来、今、六、十、名、八、時、五、十、分、大、隈、田、中
と、也、と、辭、し、と、新、井、に、於、て、夜、友、四、五、回、
伴、十一、時、新、井、に、着、篠、田、旅、終、に、投、札、大
久、須、美、東、馬、に、投、入、着、篠、田、錫、茶、屋、に
飲、む、二、時、迄、飯、を、食、ふ、事、あり

四日

晴、今朝、馬、山、幸、三、に、解、返、杖、四、の、物、路、竹、取、本、酒
を、さ、り、高、橋、義、彦、加、加、只、幸、三、山、の、教、院、村
島、清、龍、甚、傍、に、夫、橋、十、時、田、中、後、杖、同、伴、
荒、川、倫、二、の、表、を、訪、ひ、且、つ、兄、幸、三、を、贈、り、石
松、井、に、物、を、贈、り、十一、時、出、久、須、美、東、馬
の、表、内、に、於、て、酒、を、飲、む、白、山、浦、を、見、
才、山、田、の、政、院、松、井、新、次、が、賀、年、に、甚、可、施、不
校、書、三、人、亦、車、中、に、在、り、酒、を、飲、む、二、時、間、
一、と、達、す、久、須、美、の、表、内、に、七、紙、後、杖、同、伴、の
任、事、に、成、り、さ、り、公、園、を、見、ふ、此、公、園、に、余、の、初、の
と、見、る、不、可、知、撰、甚、大、さ、り、一、紙、坪、六、甚、可、

神社一拜の後、伊太利軒支店に入り酒を飲
き、書画帖数冊を賣りし、来る昔画を以て賣
あり、赤素庵の物三、二書と酒を以てあり、
揮毫もつとあり、酒次三條、後寺、故人
来り、息を浴ふ、四時、已群、し、酒を以てあり、
今夜校又、市内有志、三報、え、錦、
二、飲、い、分、畢、つ、て、松、井、余、を、極、し、日、和、山、に、自
動、車、を、起、り、一、立、つ、こ、入、り、酒、を、會、し、て、涼、を
納、り、午、前、一、時、由、臥、今、日、田、中、一、石、塚、を、以、て
と、白、安、田、に、市、原、を、以、て、校、目、を、以、て、下、丹
吳、原、平、と、市、原、と、又、市、原、子、を、以、て、
二、日

今朝、雨あり、田中、山、京、の、途、に、就、く、阪、に、就、去、
町、田、長、こ、り、田、中、長、太、市、市、橋、義、彦、市、原、
町、田、ら、板、橋、通、達、三、冊、贈、り、山、三、八、の、西
瓜、を、贈、り、来、り、市、原、林、羊、一、下、り、物、を、贈、り、来、り、
市、原、を、去、り、十、中、一、に、板、橋、新、形、直、つ、と、極、早、に、
り、御、會、を、以、て、大、隈、石、塚、松、井、久、須、美、三、六、
松、井、屋、を、以、て、北、口、初、め、し、市、原、の、西、大、隈、の、別、荘
と、其、の、庭、園、を、見、る、三、時、解、つ、と、石、塚、太、市、
り、甚、し、治、案、を、受、く、久、須、美、東、馬、と、新、築
の、小、甚、し、治、案、の、人、今、夜、二、時、日、を、汽、車、で、大
隈、野、井、池、の、荘、に、か、へ、り、山、三、八、の、家、に、
入、り、石、塚、三、八、の、夜、に、入、り、来、り、夜、云、り、為

又早く寝ぬ所敷のの眠眠不足を病ふ

六日

昨眠足り五時起床加賀屋山(幸三)九物行
紀行の序言を囑せしと案を立腹行を定む候
後中永忠司(監司)と士直(就職)と記を
一時同談話しし由一ふ山田教城(紀行序文を
口授筆録せしむ)十時迄石塚を訪ひて引つぎ
茶を治り、原宏平の計に據り、二三のハガキを
東宅へ送る、午後又在石塚方に所り柴根の隈
癩ニツ取去り、新築京に於て浴室の傍に
械不充分なり為り取り得せりしと云世の口上

リ義進を此の一着相平とて型を取、並取
也夕陽石塚余の施舎に本功送奉一の経を
出仕未草子つき去りしに去る十時外
才突熱困み此の結りし起きて雨戸を閉
放し麦酒を飲け漸やく眠り、本日は暑熱
殊々甚しく候日困しと

七日

昨日二時の夜汽車に帰東と決し寝るを
て睡ふ今夜左泥り友人十人を錫茶を
拒飲二杯為般の手配を石塚に托す石塚
其他の為め、揮毫す、村崎靖雄に謝す

八時石塚方、行く義達^三、以是型を取
午前一時成る、加賀幸三、病床に
る、三川通二、言、高、惟、拙直毛を
と、衣乃ち書し、と、返す、東京、と、翌年、言、
ゆ、十年、泊、午後、山、田、教、成、才、亦、可、其、氣、を、忍、ん
て、大、浪、候、候、比、偏、り、是、始、末、を、後、し、と、筆、紙、七
し、め、新、夕、の、枝、料、に、資、す、東京、宅、丹、其、原
平、に、簡、す、午後、再、い、義、達、の、為、石、塚、方、に、引、
と、夜、七、時、鶴、茶、屋、に、四、五、の、友、人、を、招、飲、松、井、郡
沈、市、島、庫、中、に、石、塚、方、に、加、賀、幸、三、山、田、教、成、
村、崎、崎、唯、山、中、推、孝、引、深、更、と、引、去、今日
三、午、氣、温、九、十、四、分

八日

時、日、方、の、小、室、の、辛、云、三、條、く、取、く、引、接、持、
来、り、為、り、解、夢、を、致、す、か、七、の、宿、醒、未、比、醒
め、新、夕、候、ハ、六、日、夜、東、京、に、強、志、展、あ、る、等
と、報、す、漢、六、り、と、来、也、高、倉、庫、四、即
其、治、の、板、の、鋸、を、危、敷、定、る、と、十、日、折、
石、塚、方、に、引、り、絲、き、り、集、一、枚、金、札、急、義、達、
装、し、り、り、如、く、氷、を、時、志、こ、と、を、得、一、時、宿
、ゆ、り、喫、飯、す、午後、浦、を、得、七、旅、中、の、雜
事、を、録、し、時、を、移、す、松、井、郡、沈、舟、崎、仁、一、寸
訪、者、危、物、を、四、十、七、日、外、に、奉、氏、御、中、と、言、
十、日、老、ま、六、時、の、夜、汽、車、に、投、す、松、井、舟、崎

市村英輔の山中推打時見送りの為の
停東條の事、石塚忠之助、同行、麦酒を
満引、復座、早く眠、乾く

九日

時七時上の着、真、物毛、在、乾井、海、久、吹、
電報を、為し、物毛を、乾す、不在、守、五、十、山、
力、ら、し、新、著、を、言、の、も、と、出、居、所、出、し、と、麦
酒、を、打、貯、る、事、あり、市、村、英、輔、外、雅、任、十、数
も、不在、守、到、達、の、事、を、捨、す、即、ち、此、に
這、子、の、後、宿、に、行、き、家、に、在、る、事、を、東、條、の、
比、寸、ん、に、急、に、傳、へ、し、や、す、き、と、之、を、市、村

英輔、二、返、書、を、投、入、又、在、軒、井、深、大、隈、屋、
一、書、を、入、入、す、午、睡、二、時、間、脚、か、連、日、の、睡、
不、道、と、補、ふ、不、在、存、り、才、と、賀、田、直、次、余、の
不在、中、朝、解、し、而、す、東京、新、報、の、送、
り、を、報、し、人、参、を、貯、る、此、年、大、隈、の、大、
出、大、隈、今、故、に、預、け、る、同、者、を、畫、幅、今、う、よ、
り、文、三、と、し、て、齋、平、一、と、し、て、之、を、三、十、三、
函、函、に、夜、九、時、又、微、震、あり

十日

時、這、子、の、必、女、に、簡、す、神、田、の、二、三、色、房、を、功、の
早、魁、も、不、道、あり、松、文、を、に、十、四、日、拂、凡、月

二枚し煙子を購ふかへり、午睡二時間
石田三成を讀み夕刻に到る大隈守録、預け
ある書意、圖書八十冊、燬書二十冊、の本
日悉く燬出、點檢、満、あり、汚損あるは、果状
可しと文三報す

十一日

昨朝、石田三成を讀み終、清の(要)森脇
小久江、大隈守録、預け、内書書入
大箱六個、圓方のシケタ、その文、宛、元
室、せ、ま、く、置所を定むる、雨、傘を拾ふ
本、お、ゆ、了、八個、番、號、左、の、如、し

番外二、四、六、七、五、八、

番内 八十七、八十六

八四箱 内一箱 法外橋箱

十二日

昨、今日、日者、執、本年、才、一、つ、の、小、輕、井、洋、行、を
限、度、の、出、列、る、大、隈、守、録、を、元、室、守、り、て、大
拍、敷、の、橋、の、終、止、地、を、文、三、に、托、し、二、三、の、物、を
購、め、て、運、子、に、吹、女、を、訪、見、し、車、を、駕、り、
列、る、佛、を、佛、法、宗、現、一、支、場、の、佛、堂、原、に、行
か、ん、と、し、る、今、午、十、時、出、發、十一、時、止、豆、子
ニ、着、向、女、と、午、時、の、止、り、午、後、鐘、を、
荒、廢、の、状、を、元、人、と、報、し、先、と、多、分、を、

本日印田車一車よりゆつゝ鍋釜に着後ハ幡
とゆつゝ羅推火の葉表(石造)にゆつゝ教死(石
橋)とをえり、拜殿も潰れんと礎石をえり、
電車に乗り去り、下車し、後三橋の
焼跡をえり、唯此川をゆるり、み全部直土
に化し復其より利とす、此(石)多くの家屋皆ハ
ハラの式儀後のまゝにして、大佛をゆ
お大銅像を載せたる石礎、揺き一尺むら
大佛前にゆくと見え、胎内破損多しと云
別荘の尖に羅推りたるもの一年を待たず、全く
手を着けたるもの七元一なり、大佛の茶屋
に麦酒一瓶を割して湯を器留し、電車よ

片瀬腰取に別り、徳の湯を記みえ、
引返す時、五時をこく、去り、下車
徒歩市中の状況を見、停車場前の
茶屋に越え、徳の湯を志す、偶々藤
津城士(利善大)の入り、あり、
深い震火、このわの、花川の電を失ひ、
後、去りの、住すと、夜三、
と別れ、去り、か

十三日

町改正、上り、注財を施す、
を教正理す、立井、吹者三、
服部

耕石等物言書し幅十数を出し回覧時を移す、内山者こゝろを其まゝの道回走るもの湿氣あり花標影なしよりの片附りりるを流汗淋漓共執中一大方扇を敢て扇、昂る五十月交付す。

十四日

此日即今朝庭子か(三)町の、キ、掛物も風入九日の敷心理ま中の禮四中森陽美樹を振き大隈傳記行本慈心地、謝し協儀し十一の舟舎を約して別、午後大隈分岐ら持回るるもの全部、片つけ畢る、施録

を葉書、新内振及会より謝状到り、夜三時地震あり殆どくさんとなり、二時月蝕

十五

晴古池書畫を持ちする三十日、珍畫帳代の内後より八時迄微震あり、雜紙を葉してその口を消す、午後本丸珠塔閣を初めに園を將ひ尚若く園を浅倉倉と二三の園をを得、浅倉倉代金北三日拂、此日の地震の福地地方最も甚くと夕刊報す

十六

晴、今朝冷氣甚し、九時より中野に中野
須賀原を越え、中野を越え、大隈修記の
偏り、兼、道行上の多、兼、脱漏、修補
の材料、其、他、細目、の、書、出、の、切、合、致、し、午
夜、を、供、し、二、時、散、夫、山、田、三、平、才、功、等、
午後、山、田、三、平、才、功、等、校、書、禮、法、の、本、行、不、
調、の、事、を、お、ち、来、り、示、さ、す、増、内、通、道、に、
多、色、紙、四、枚、押、書、是、成、る、難、紙、を、書、き、
夜、に、入、る、

十七日

晴、朝、春、新、報、を、書、き、す、往、村、宗、八、出、版、部、の、事

務、に、関、し、来、流、度、井、一、雄、と、身、功、午、後、神、田
の、山、庄、を、訪、ふ、湯、の、不、等、し、加、久、田、直、次、新、居、紙
成、り、山、田、の、切、手、を、取、る、

十八日

雨、氣、あ、ん、と、古、路、と、の、冷、氣、人、を、驚、か、す、期、日
大、隈、修、記、の、事、を、書、き、す、石、塚、出、京、改、上
の、事、を、書、き、す、訪、問、處、の、改、修、を、受
く、午、後、二、時、以、り、漸、々、と、雨、降、り、初、書、信、紙、を
を、讀、み、つ、け、り、五、冊、讀、了、り、越、こ、入、り、雨、降、り
つ、く、紙、後、五、十、時、旅、の、味、を、書、き、
あり、と、書、き、す、

十九。

右朝日大隈氏の傳記を讀み又正午
半也三冊讀了。石塚より身功平紙
を貰ふ。午後五時。花居傳記を觀讀
一冊了。又三時七印。骨董函數十個
入る。押入を整理せしむ。元山より古柳馬印
の消息あり。初より傳記物又一巻讀み。元
宵漸快なり。あり。

二十日

雨宿り。市兵衛傳。身功傳のあり。日
橋寺の石塚。石塚山寺あり。由朝より身功

十二時傳の義一と日橋寺身功傳の義一
あり。石塚三印より傳記の件。と讀み。身
功より中央停車場構内へ致し。由朝。由朝
の石塚を訪ふ。石塚寺あり。和後。和後二十日
由朝。由朝より傳記の件。と讀み。身功
の石塚寺あり。由朝。由朝より傳記の件。
と讀み。身功の石塚寺あり。由朝。由朝より
傳記の件。と讀み。身功の石塚寺あり。由朝。
由朝より傳記の件。と讀み。身功の石塚寺あり。

二十一日

晴風。朝日新聞。石塚。石塚より身功平紙
を貰ふ。午後五時。花居傳記を觀讀
一冊了。又三時七印。骨董函數十個
入る。押入を整理せしむ。元山より古柳馬印
の消息あり。初より傳記物又一巻讀み。元
宵漸快なり。あり。

徳の事をいふに午時、さういふ事を
し、更なる讀本に、既り二時、山崎
の事、いふに、長文の事、向り、且つ
言、其の事、いふに、集、山崎、其の事、
在、位、物、和、由、若、古、いふに、山崎、勉
沈、其、功、

廿二日

烈、今、此、り、同、し、時、に、此、兩、刊、し、今、其、事、い、ふ、に、邪
馬、河、の、自、派、を、採、し、今、才、珍、帖、終、り、星、田、源、次
の、西、洋、の、影、印、書、を、多、け、り、日本、書、し、を、讀、み、
時、を、終、り、今、其、事、い、ふ、に、山、田、河、元

其、沈、其、功、の、事、い、ふ、に、印、三、顆、服、部、耕、石、の、事、
す、其、和、伎、鑑、録、の、為、打、老、い、ふ、に、午、後、更、を、得、り、
七、神、田、物、事、に、物、を、辨、し、四、谷、に、由、り、三、河、元、に、
領、し、て、か、い、ふ、に、昂、收、り、這、り、い、ふ、に、油、の、三、浦、島、舟
と、い、ふ、事、也、

廿三日

昨、午、此、昂、即、這、り、い、ふ、に、行、く、誤、り、と、眼、鏡、を、持、ち、改、正、
す、其、事、い、ふ、に、つ、も、の、注、射、の、事、に、リ、ウ、マ、ケ、の、事、を、注、射、
を、受、け、左、腕、に、い、り、リ、ウ、マ、ケ、の、事、を、受、け、痛、を、感、ず、
大、隈、房、忠、信、本、を、讀、む、事、也、其、沈、其、功、の、事、
本、社、今、同、巻、の、原、行、也、つ、も、の、事、を、傳、記、の、二、冊、讀、

う、このうち九冊十二冊全部送り、筆者：
送刑を要求する個条書を此の午後尖熱
数の前に七とり垢ふた七心地を為す、横外施
書を換む。

二十四日

時相清涼を受ふ人を後公の社に是れ、橋根を
修記せしむ、此代外批料代二十日頃まで吹
久来の頃、大寺に、山陽の墨跡、高島三枚
所、東和の番、下河辺、島山、状、刻、十時
光を、此の外出、取、出、物と、解、ひ、又、破、損
の、銀、鏡、を、金、白、三、修、記、依、頼、十二、時、出、巻

三酒飲して、八、三、浦、島、舟、来、の、程、打、も、と
出、敗、部、掛、入、協、議、分、井、古、江、巻、録、に、開、く、旨
通知、未、の、

二十五日

陰、関、を、り、向、す、光、久、吹、の、子、供、を、付、め、て、逗、子、行
く、八、時、半、文、明、場、合、す、給、不、に、む、久、大、院、後、傳、記
の、傳、輪、入、り、給、む、原、形、下、り、出、来、を、概、と
し、執、筆、者、百、人、の、職、を、罷、く、こと、を、宣、す、其、但
し、向、後、也、要、と、依、り、更、々、依、頼、す、し、と、告、ぐ、其、
ハ、お、馬、の、換、南、々、す、部、の、考、き、替、を、要、す、る、に、付
此、等、互、も、无、り、更、め、し、高、須、の、又、囑、し、繼、續、

執筆に從ふせしむる旨、此を脱稿の申九
日申すの事、詳細批証し改訂を爲す、十三時
合ふと爲す、この別、ゆゑに驛面、過不、耕石
：傷し、官道、追の印出来、言：期、倒、可、を
以て改訂をせしむ、雜報を著し、七時を移す、
夕刻、印、運、子、を、引、上、け、ゆ、書、通、宵、間、雨
あり、地震、一、回、

二十七日

雨、山陽、路、二、三、補、送、の、原、形、を、起、す、曰、此、回、文、二、印
之、後、前、の、時、隔、り、と、す、古、池、本、下、之、書、讀、む
是、其、後、山、本、物、代、十、日、拂、向、旅、報、を、第、一

す、午後、始、め、追、送、を、送、り、高、山、同、も、亦、多、り、合、言、す、
其、後、の、後、高、山、を、先、に、お、も、多、岐、に、到、り、前、時
程、打、上、江、才、と、出、版、部、拂、上、方、區、二、つ、き、内
議、す、終、日、雨、降、烈、し、水、坂、石、埭、の、計、に、接、す

二十七日

而、今、期、の、送、り、多、く、市、内、各、本、大、出、版、を、報、告、服、部
耕、石、本、身、の、改、訂、を、晚、し、け、場、内、追、送、し、
印、成、る、十、一、時、内、始、め、又、高、山、を、目、石、本、台、社、に、送、り、
て、送、り、政府、と、交、渉、中、の、石、油、改、訂、の、之、を、
を、亦、多、り、由、金、銀、生、産、に、回、り、修、理、終、了、す、
眼鏡、を、交、え、井、本、本、身、に、送、り、驛、面、を、

街七ゆ宅、町田早大流、ちを真簡、能録と
兼一七陽、こを

二十一日

時、よりの多無く、庭の掃除、没談、大改の今
西林三守之計、接す、午後光を伴ふ、出遊本
仰、珠瑠、園を切、る、方物代三十日、辨、銀堂、回
り、キ子マを見、晩食を非、為、喜、に、於、て、
物、路、神、田、の、一、二、書、店、に、回、を、掃、ふ、細、川、に
二十日、辨、夜、来、又、而、也、

二十九日

曇天、森脇を、取、改、し、傳、記、編、り、奈、古、跡、を
高、く、く、ち、を、記、す、る、こと、を、云、ふ、坪、の、印、三、款、を
持、考、る、石、油、政、策、の、き、早、速、三、本、と、公、分、
二、の、き、の、取、り、を、電、話、到、り、女、人、に、お、状、を
寄、り、お、付、け、ら、れ、り、中、之、支、店、の、川、上、民、次、子、
橋、漆、山、大、愚、の、計、を、考、へ、今、夜、前、崎、に、お、参、り、
三、飲、也、

三十日

時、和、田、為、吉、近、刊、馬、琴、日、記、を、贈、ら、る、吉、尾、銀
行、三、十、日、手、形、差、入、り、の、路、上、古、間、和、田、二、五、
を、投、す、池、田、金、太、郎、と、し、来、也、雅、好、を、兼、ん

時を移す、久之江内法、内書、高、終、終、終、終
七頁、午、睡、一時、可、也、雑、記、を、注、し、た、る、

三十一日 日

既、上、山、の、事、有、り、臨、病、注、文、を、施、す、日、本、名、油、會、社
多、改、訂、石、油、便、覽、を、寄、せ、來、り、山、西、山、心、中、田、河
子、年、功、下、婢、一、人、い、ま、と、り、張、録、く、こ、の、耕、石
、印、刻、代、好、由、分、為、持、者、の、金、也、こ、の、山、場、録、を
印、刷、し、附、克、と、り、又、て、校、訂、に、取、り、か、し、る、複、製、本、
二、冊、配、本、淺、色、紙、の、書、物、代、三、十、五、冊、拂、上、着、り、施、德
を、讀、む、幾、日、者、一、口、を、終、る、

